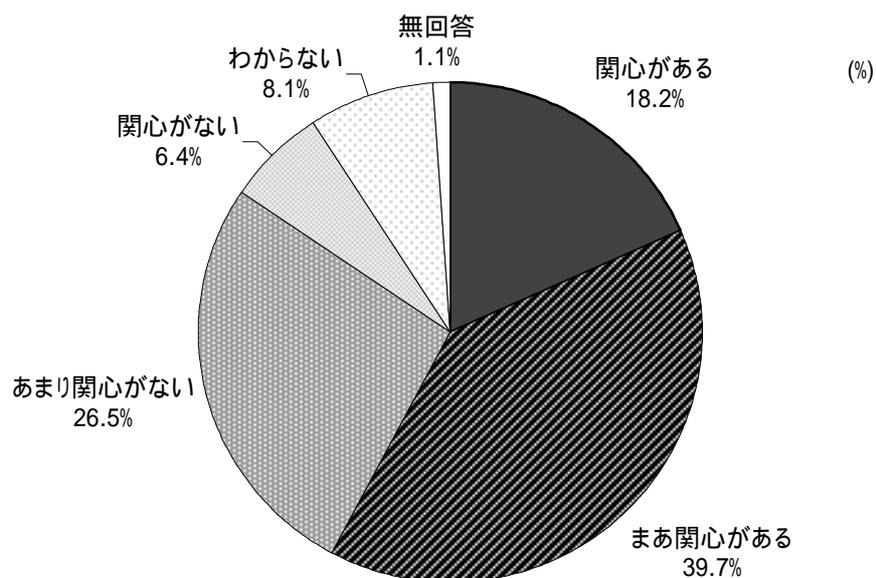


5 . 市政への関心

(1) 市政への関心度

問9 あなたは川崎市政に、どの程度関心をお持ちですか。(1つだけ)

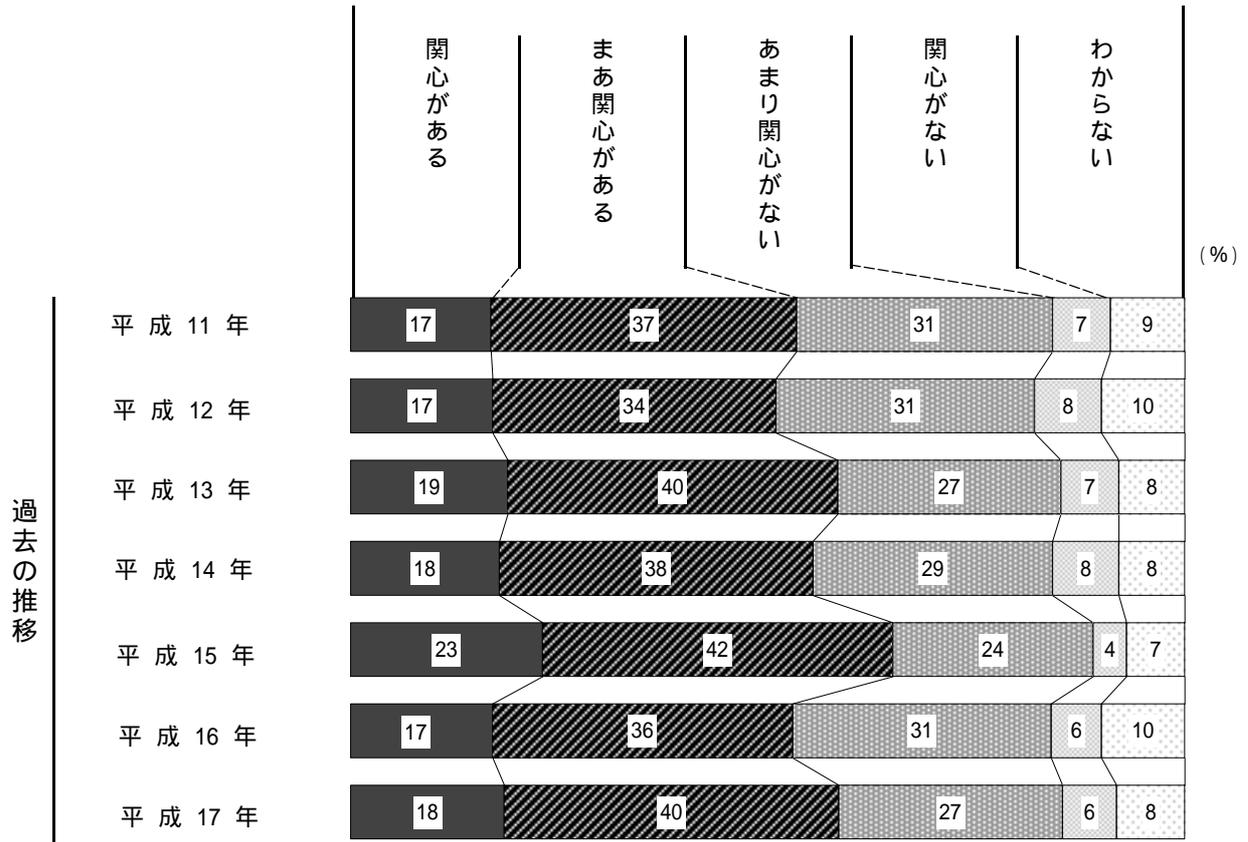
図 9 - 1



【全体 = 988】

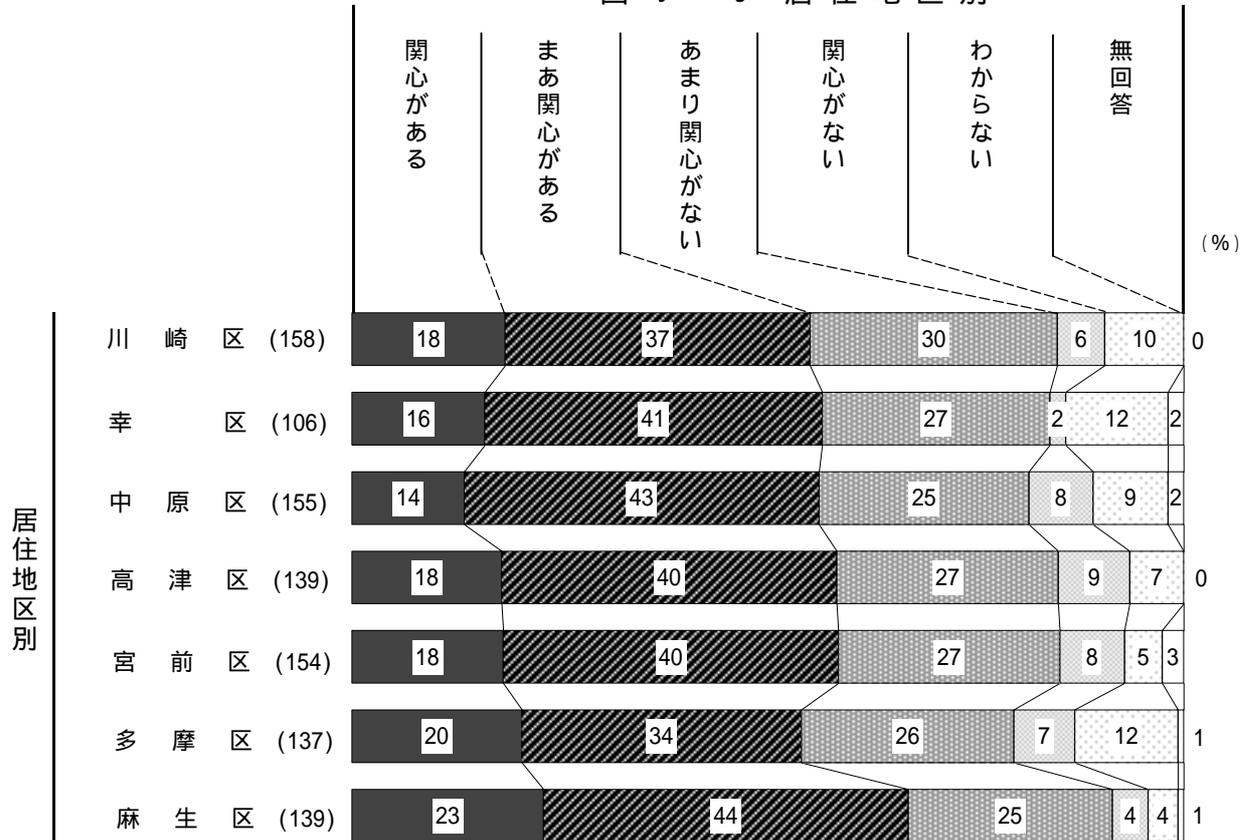
市政への関心度については、「まあ関心がある」が最も多く39.7%、これに「関心がある」(18.2%)を合わせた市政への関心度は57.9%となっている。一方、「あまり関心がない」は2番目に多く26.5%で、「関心がない」(6.4%)を合わせると32.9%となっている。

図 9 - 2 過去の推移



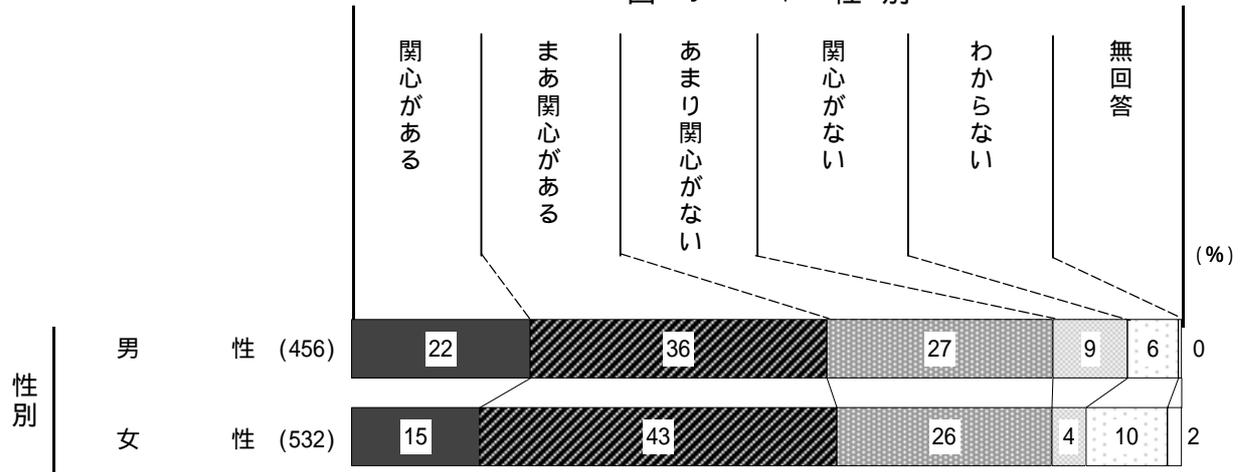
過去の推移では、関心度は昨年度と比較して53%から58%へ5%増加している。

図 9 - 3 居住地区別



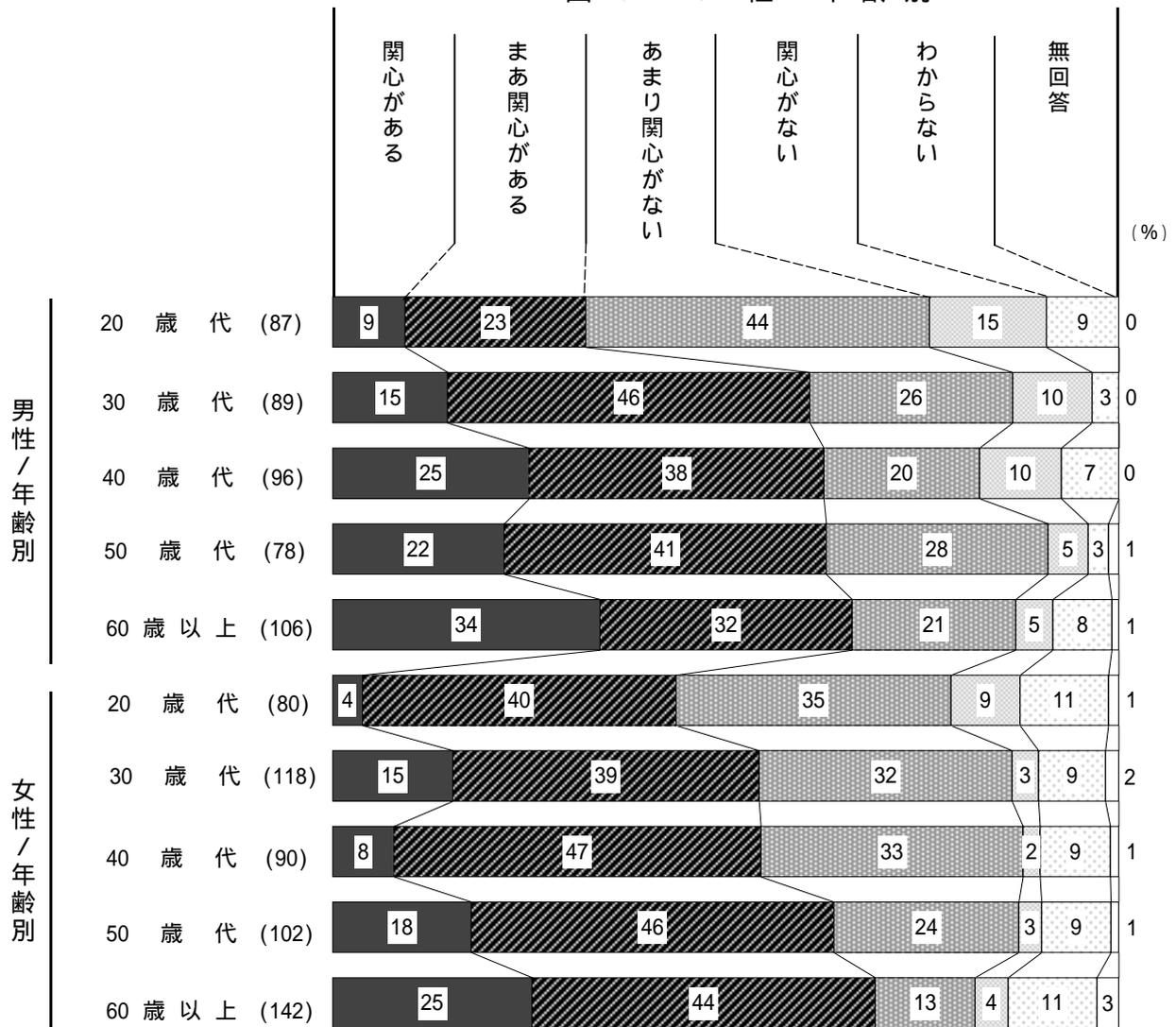
居住区別では、関心度は麻生区が67%で最も高く、その他の区は60%未満である。

図 9 - 4 性別



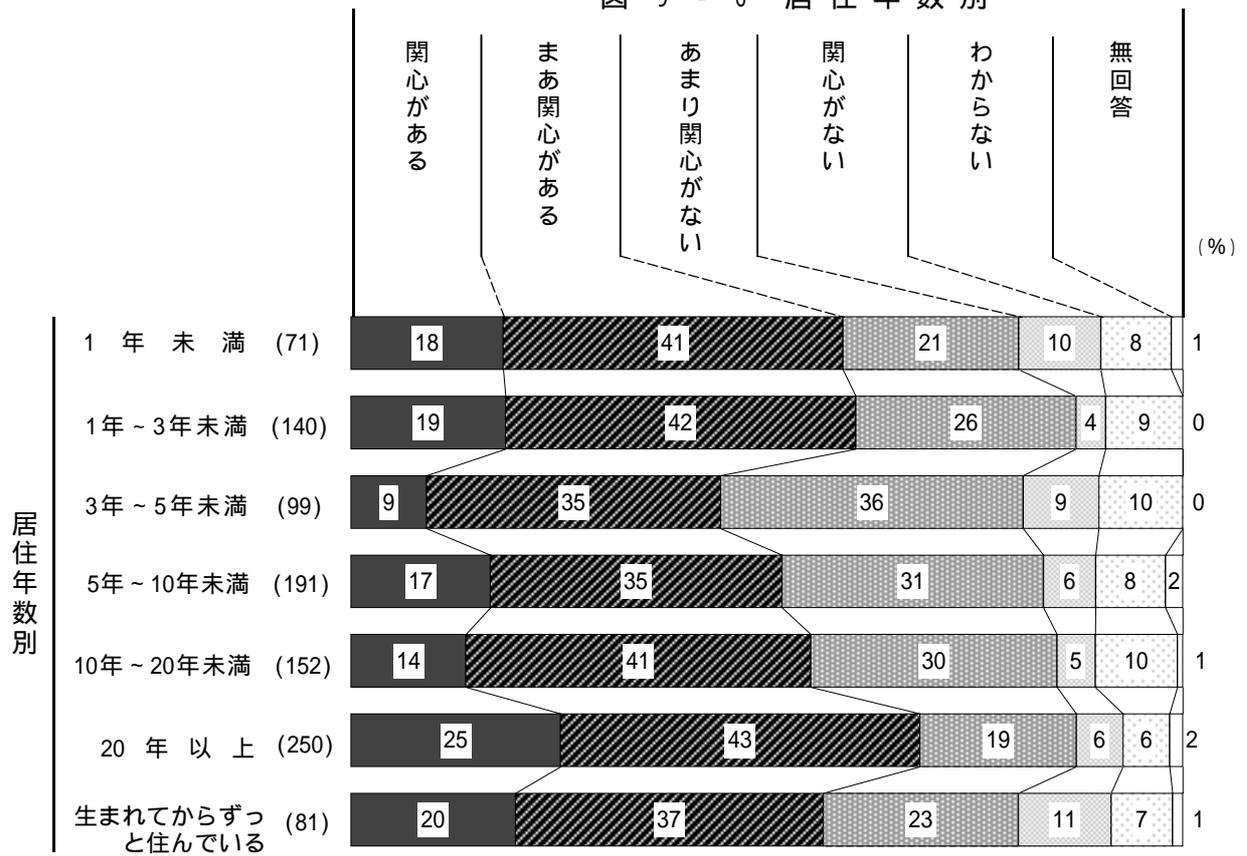
性別では、男女ともに関心度は58%で同率である。

図 9 - 5 性・年齢別



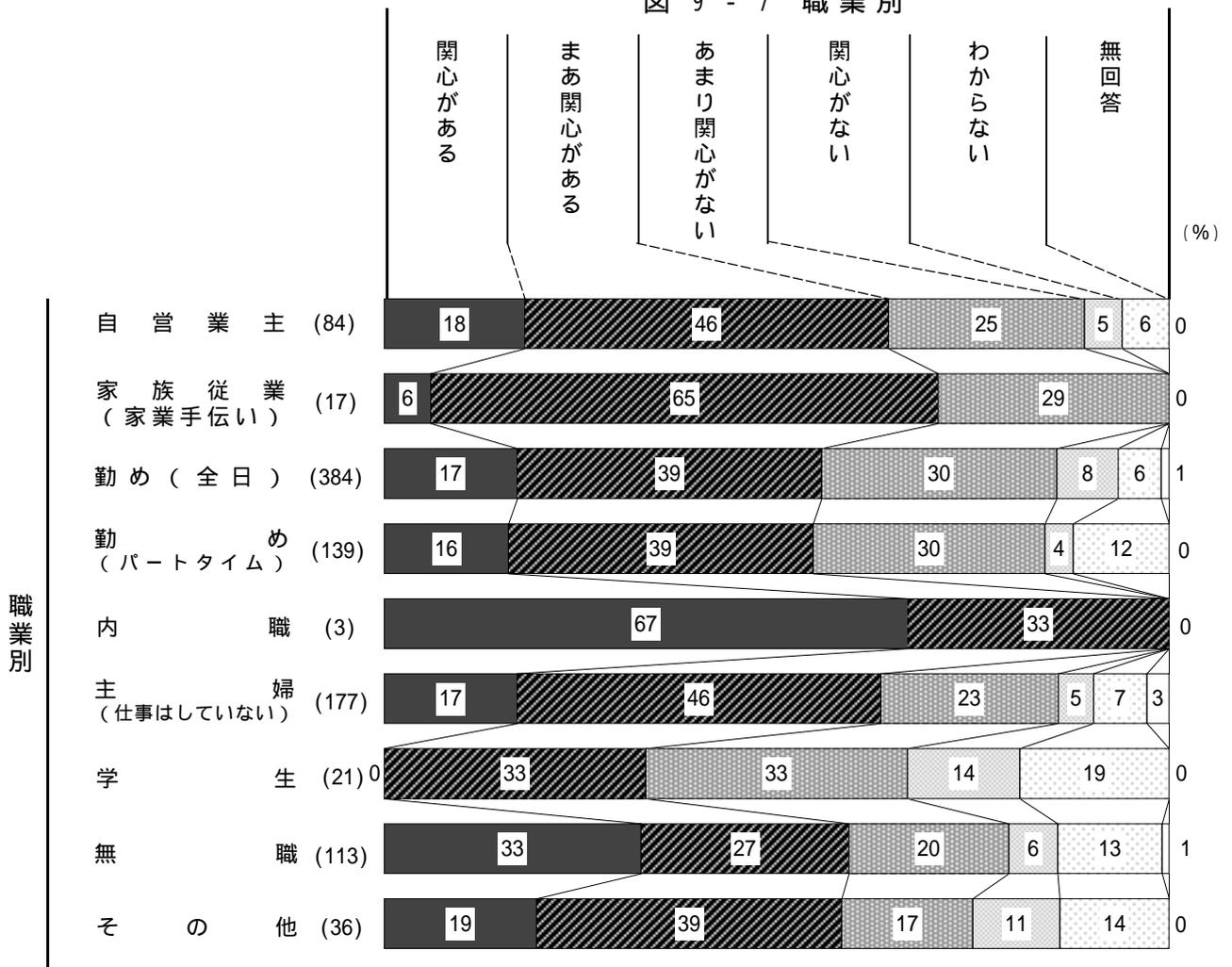
性・年齢別の市政への関心度では、女性60歳以上が69%で最も高く、次いで男性60歳以上の66%の順である。男女ともに年齢が上がるにつれて関心度も上昇する傾向がある。

図 9 - 6 居住年数別



居住年数別では、関心度は「20年以上」が68%で最も高く、「3年～5年未満」が44%で他の居住年数より低い。

図 9 - 7 職業別

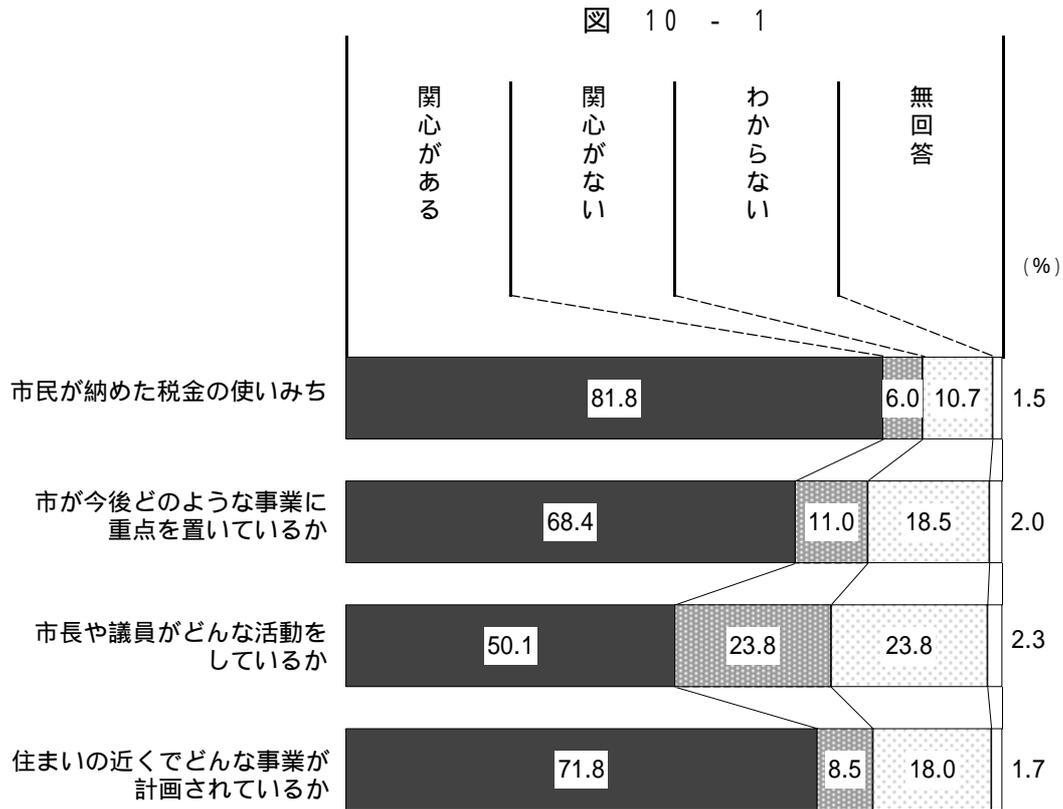


職業別の市政への関心度は、自営業主が64%で最も高く、次いで主婦(63%)となっている。また、最も関心度が低いのは勤め(パートタイム)(55%)となっている。

(印の記号は、サンプル数が少ないのでコメントを省略)

(2) 具体的な関心状況

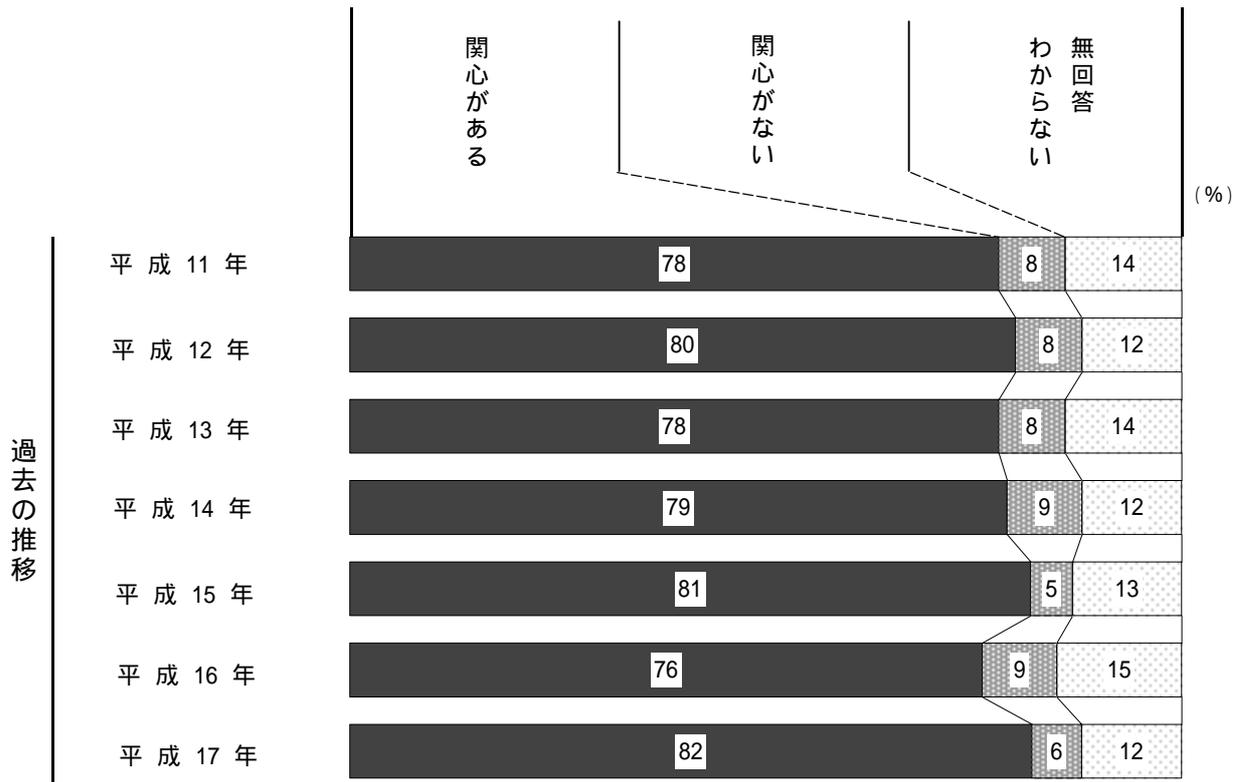
問10 では、市政の次のようなことについては、どの程度関心をお持ちですか。
それぞれの項目について、1つだけ選んでください。(1つだけ)



【全体 = 988】

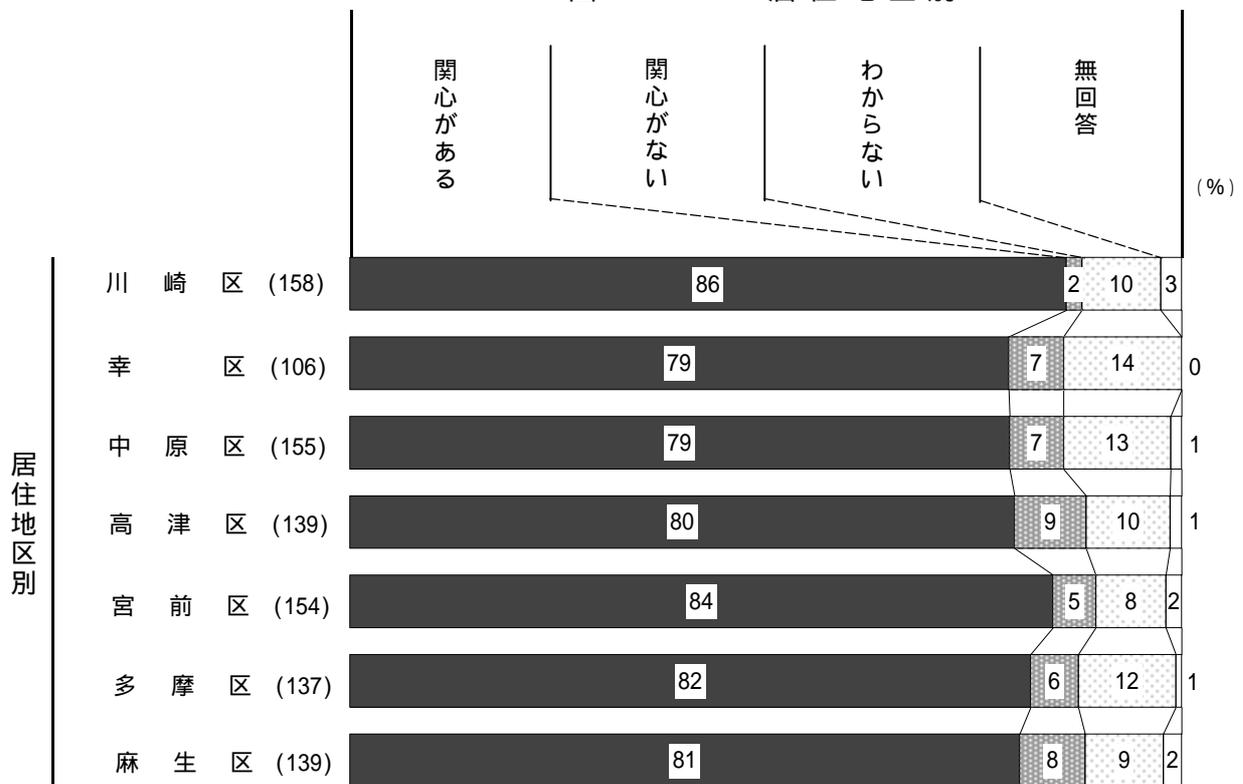
市政への具体的な関心状況では、関心度が最も高いのは「市民が納めた税金の使いみち」(81.8%)となっており、次いで「住まいの近くでどんな事業が計画されているか」(71.8%)、「市が今後どのような事業に重点を置いているか」(68.4%)、「市長や議員がどんな活動をしているか」(50.1%)の順となっている。

図 10 - 2 過去の推移



過去の推移で、関心度は昨年に比べ 6% 上昇し、過去 7 年間で最も高い。

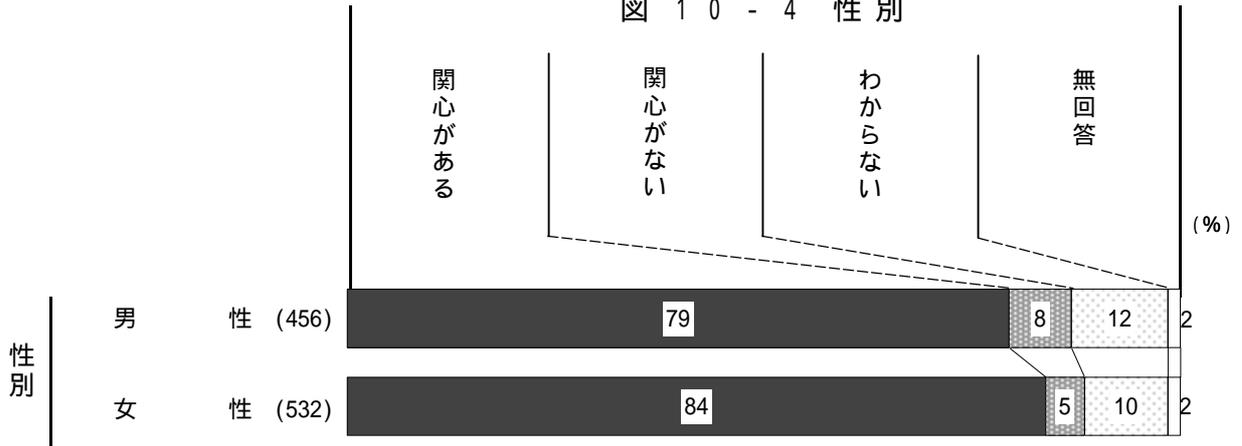
図 10 - 3 居住地区別



居住地区別では、関心度は川崎区が86%で最も高い。

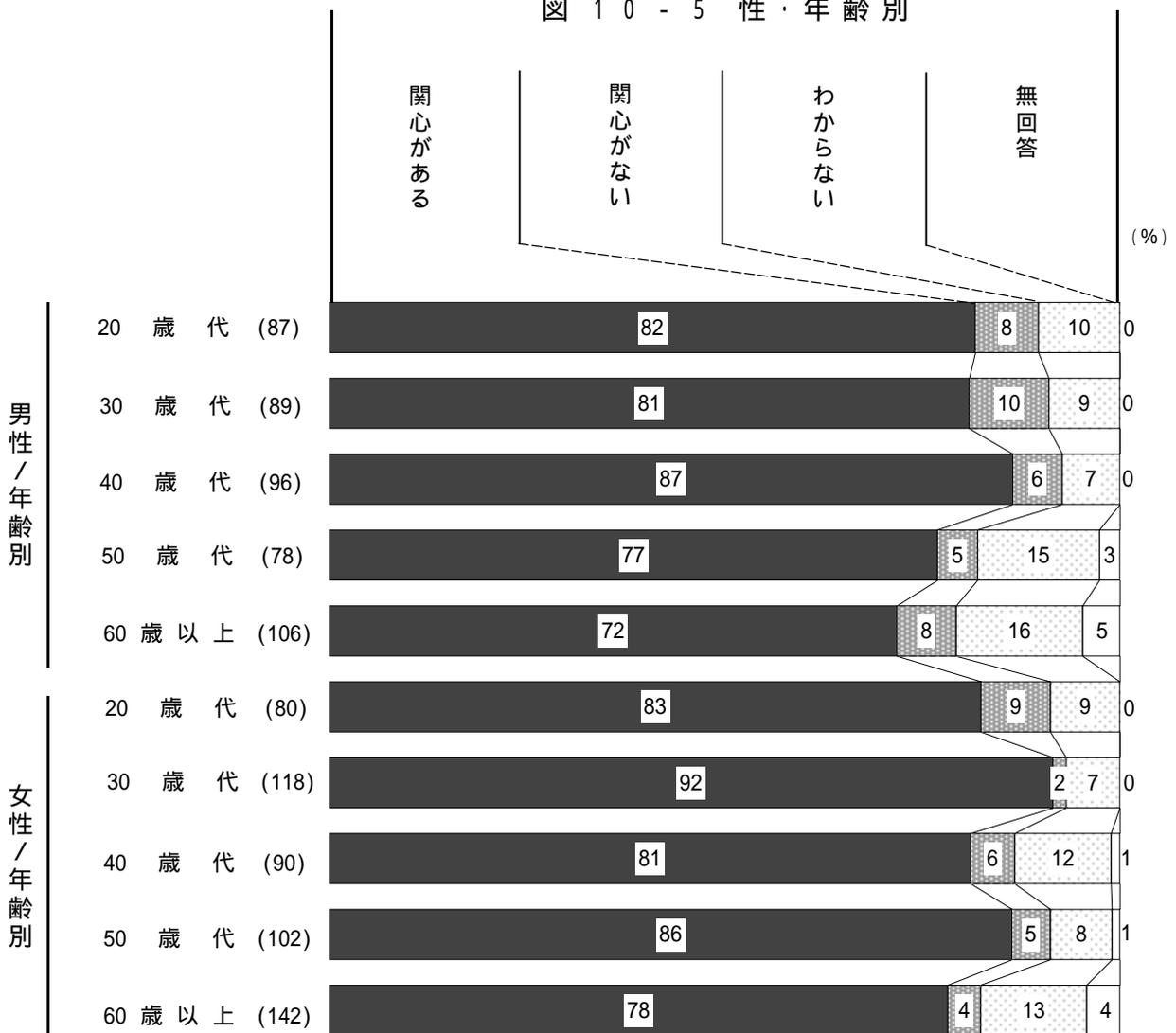
市民が納めた税金の使いみち

図 10 - 4 性別



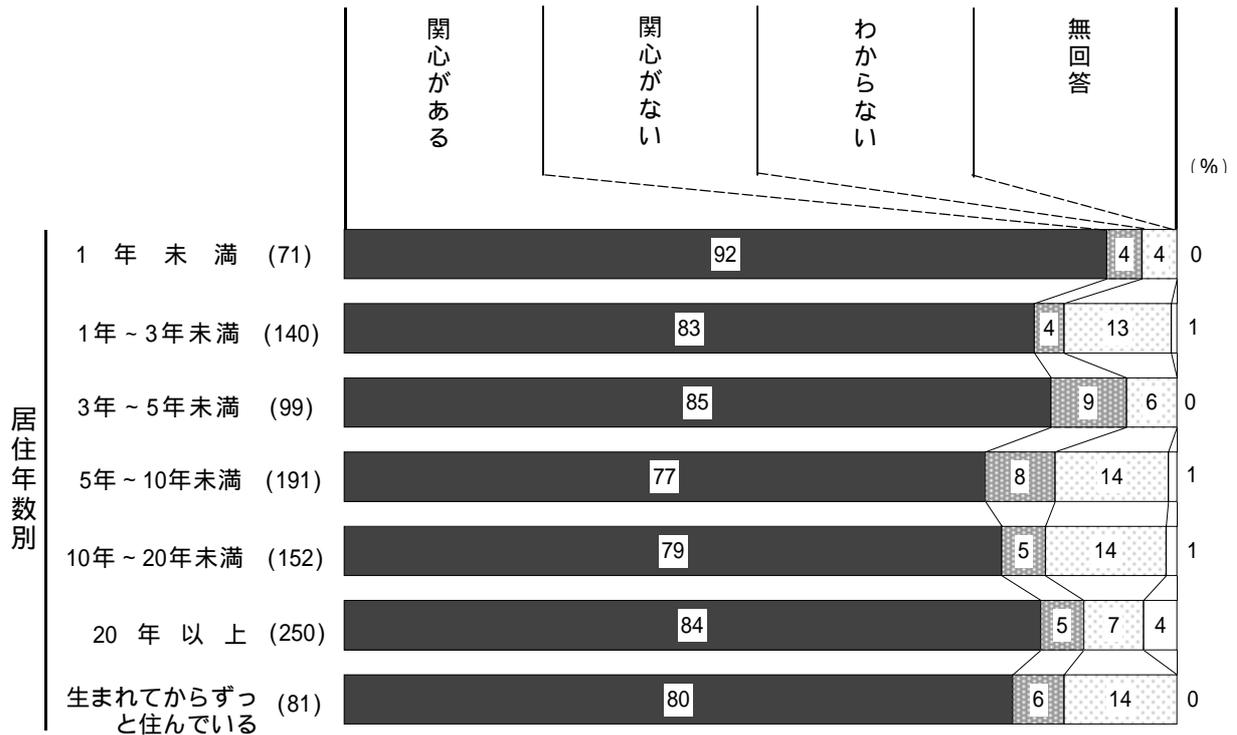
性別では、女性の方が男性より関心度が5%高くなっている。

図 10 - 5 性・年齢別



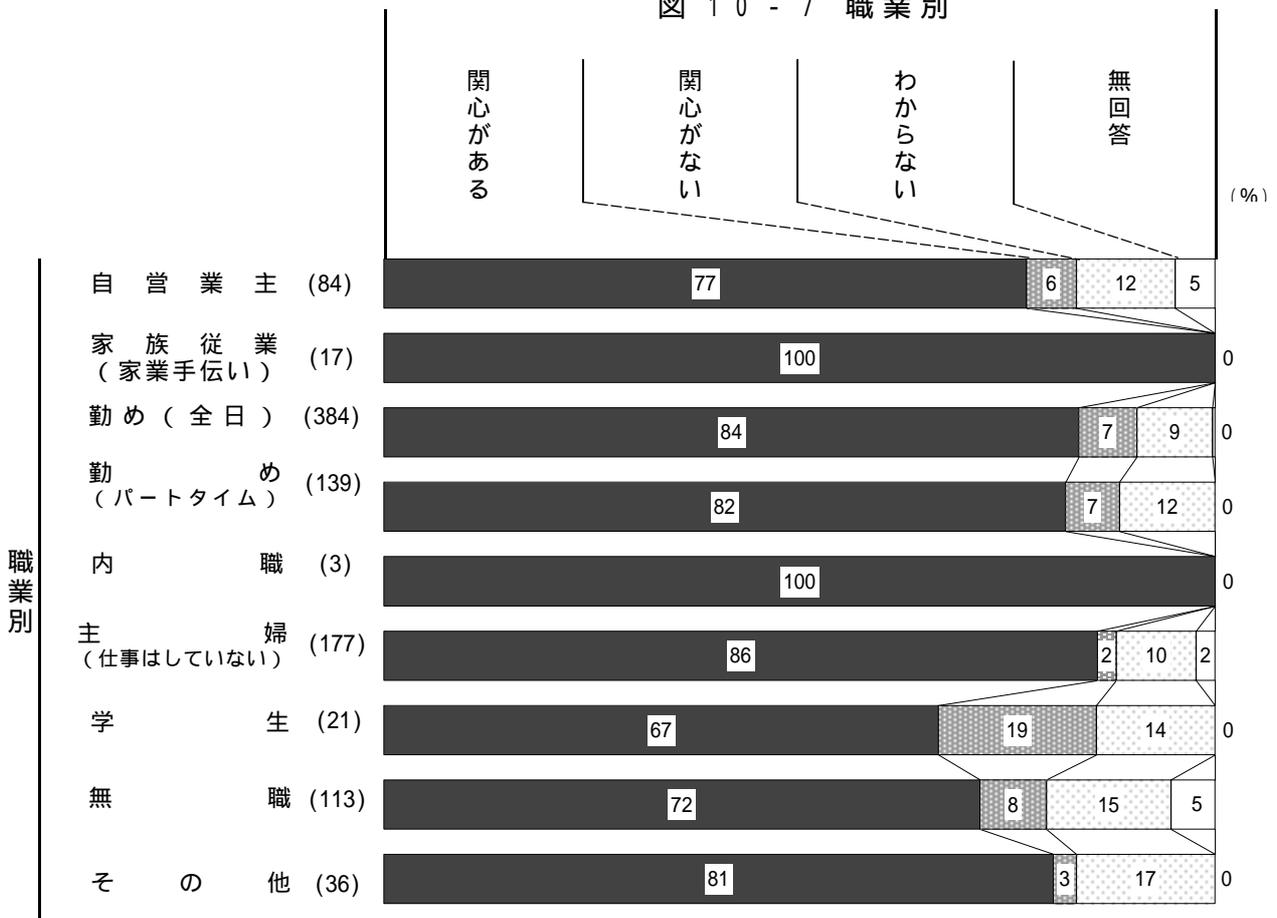
性・年齢別では、女性30歳代が92%で関心度が最も高く、唯一90%を上回っており、次いで男性40歳代(87%)、女性50歳代(86%)となっている。

図 10 - 6 居住年数別



居住年数別では、「1年未満」の関心度が92%で最も高くなっている。

図 10 - 7 職業別

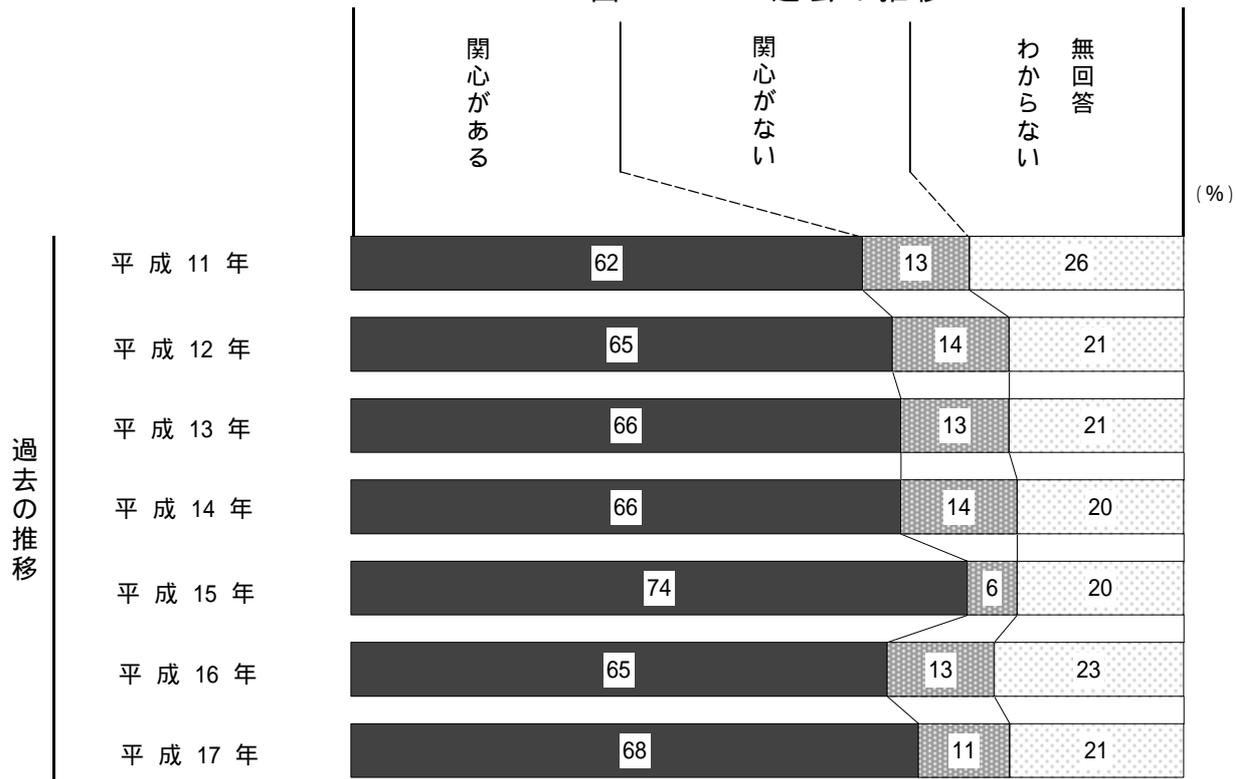


職業別では、主婦の関心度が86%で最も高い。

(印の記号は、サンプル数が少ないのでコメントを省略)

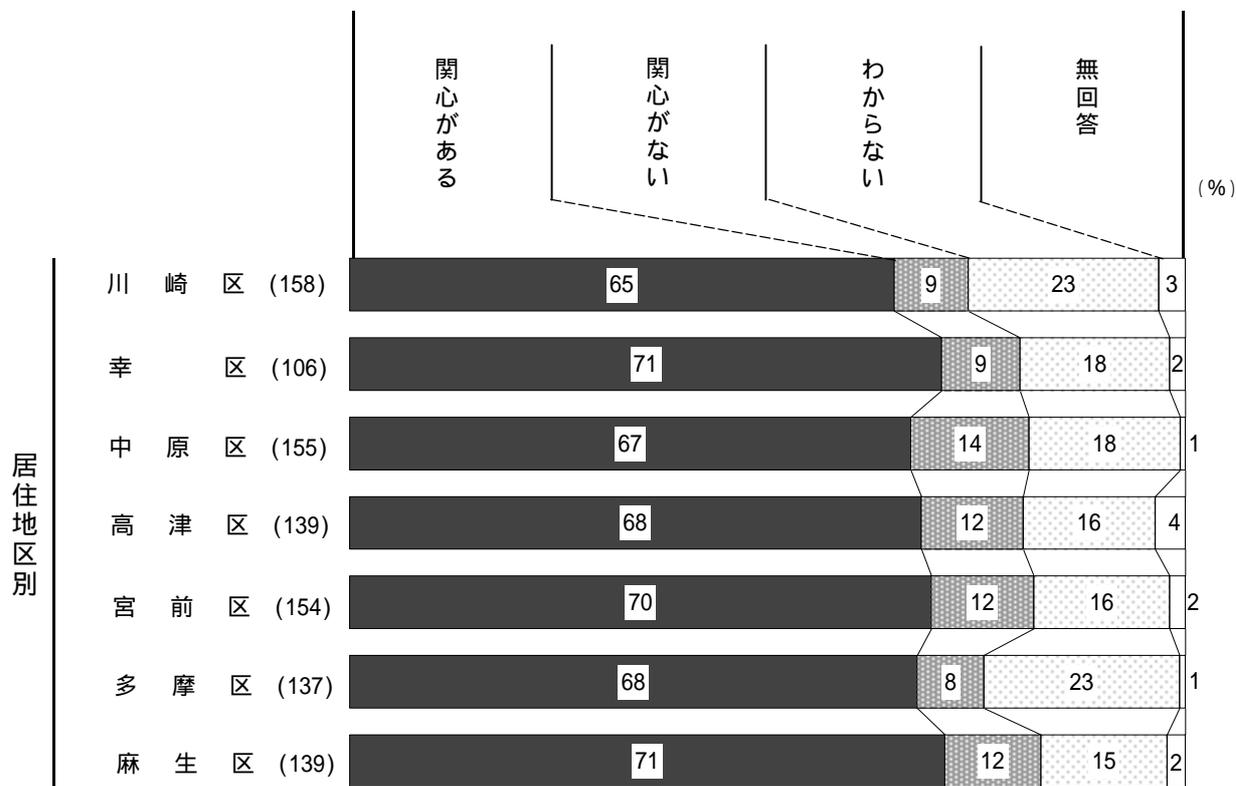
市が今後どのような事業に重点を置いているか

図 10 - 8 過去の推移



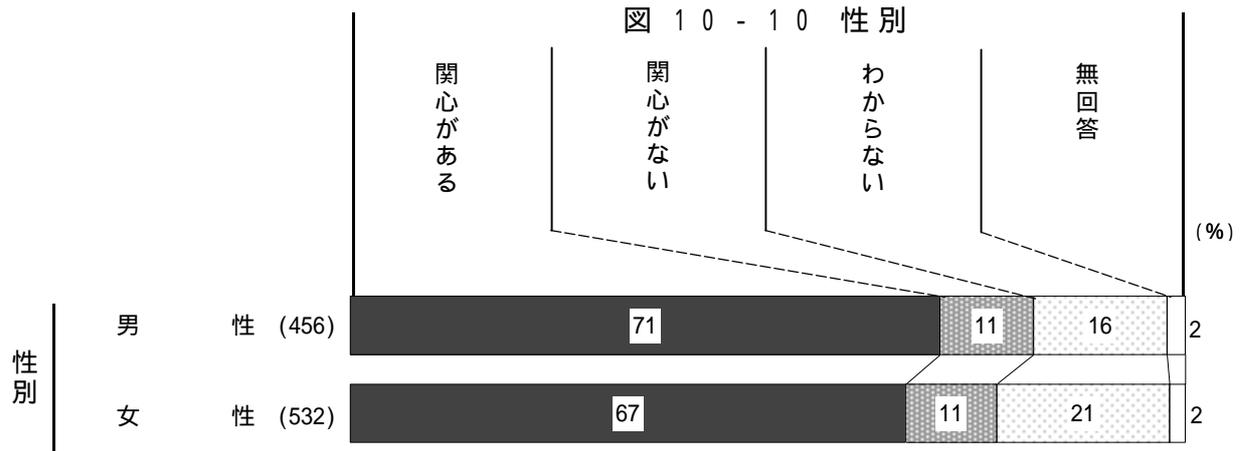
過去の推移では、関心度が昨年度と比べて3%上昇している。

図 10 - 9 居住地区別

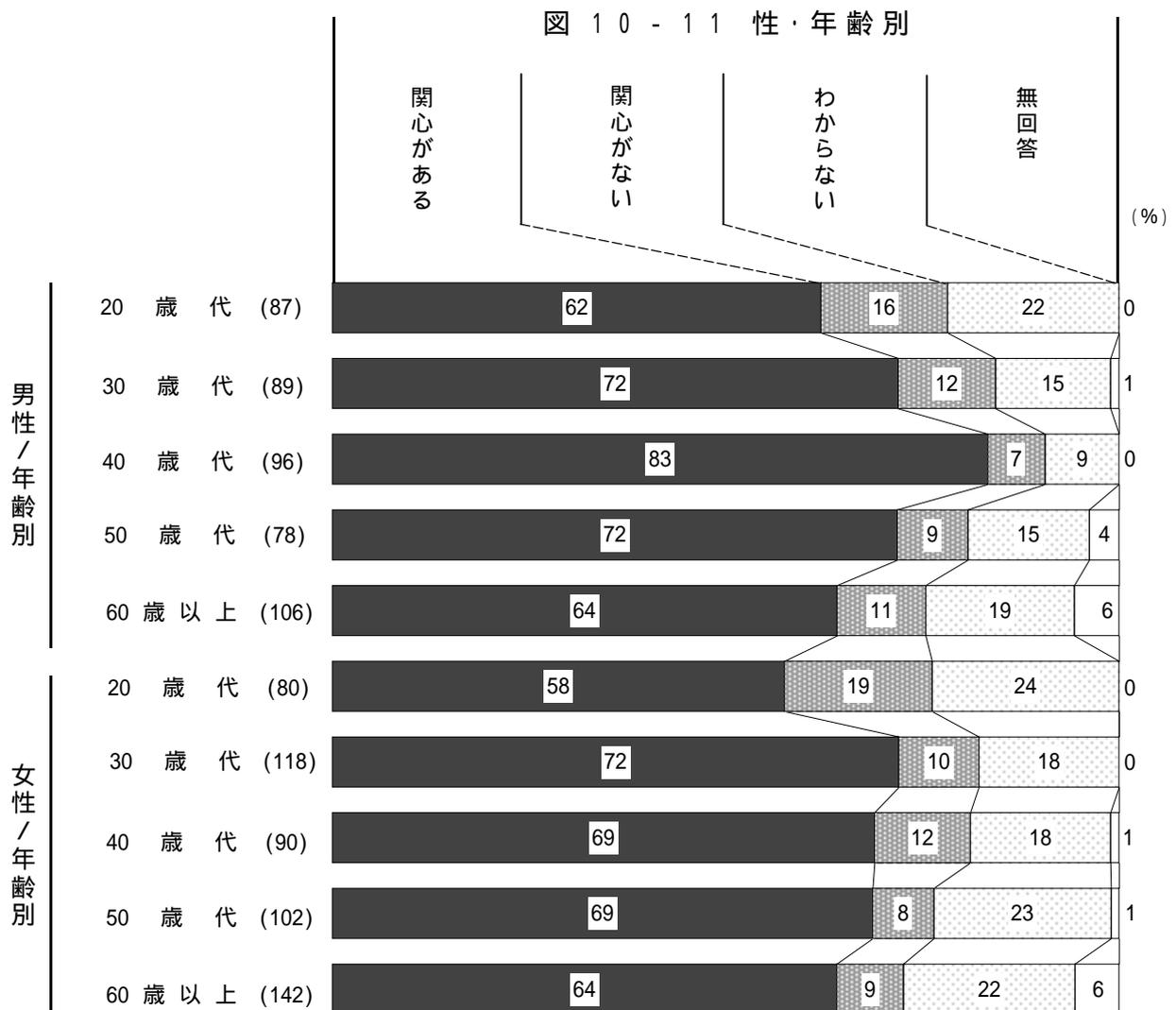


居住区別では、すべての地区で関心度は70%前後となっている。

市が今後どのような事業に重点を置いているか



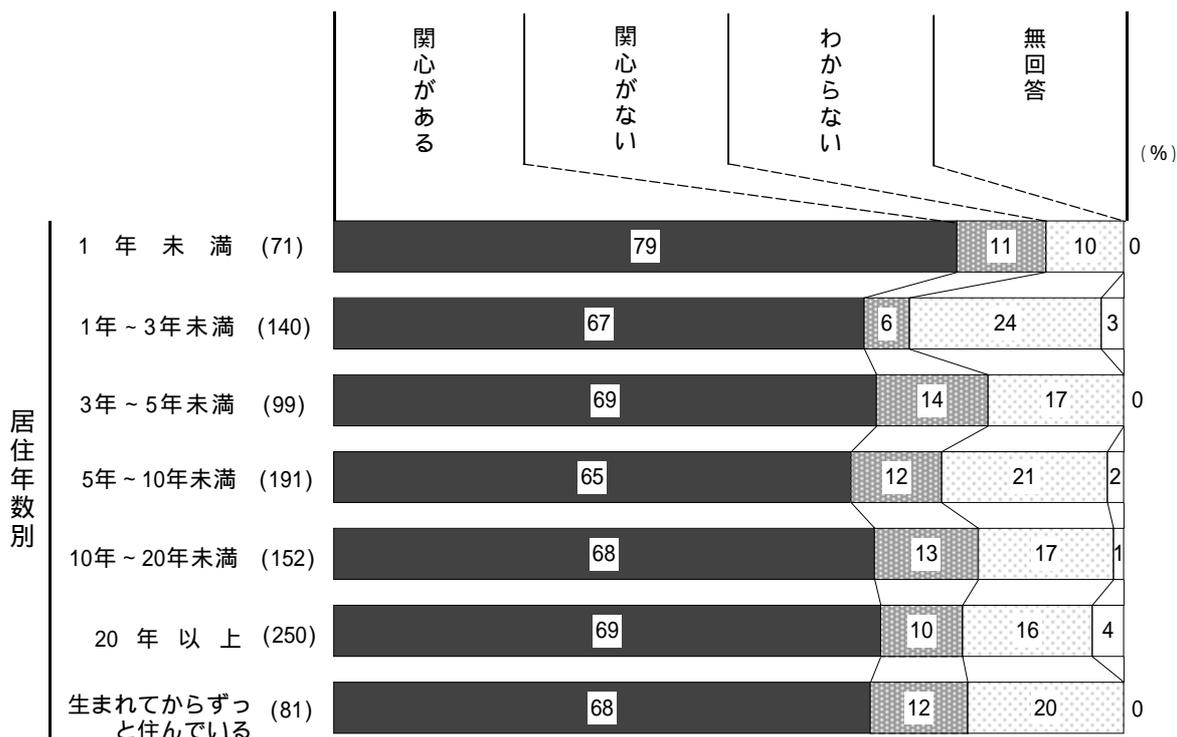
性別では、男性の方が女性より関心度が4%高い。



性・年齢別で、男性は40歳代の関心度が80%を上回り、関心度は40歳代を頂点とした山型の分布となっている。女性は20歳代の関心度が58%と男女を含めて最も低い。30歳代は70%を上回り、30歳から60歳以上まで、年齢が上がるにつれて関心度が低くなる傾向がある。

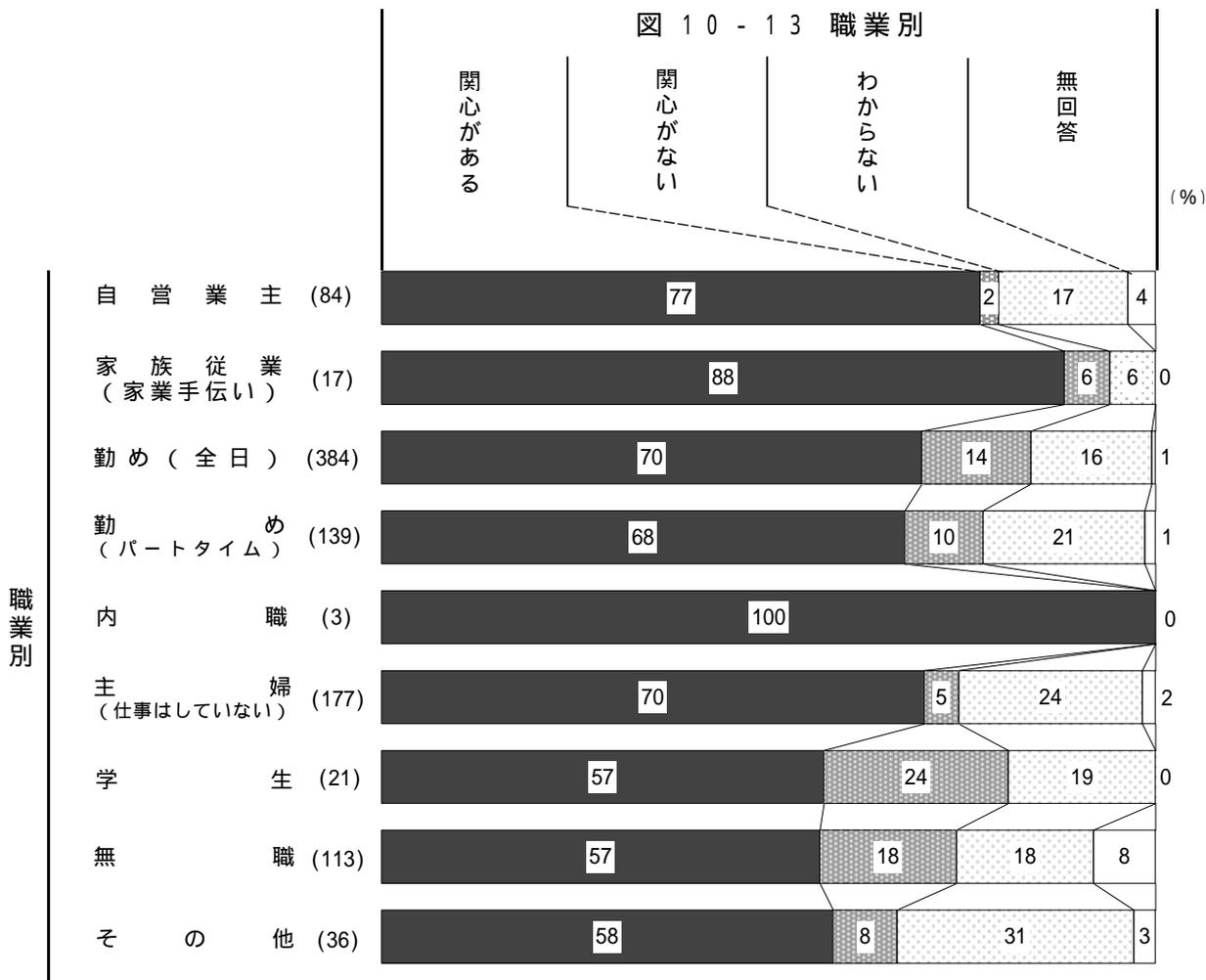
市が今後どのような事業に重点を置いているか

図 10 - 12 居住年数別



居住年数別では、「1年未満」の関心度は79%で、他の居住年数よりも高くなっている。

図 10 - 13 職業別

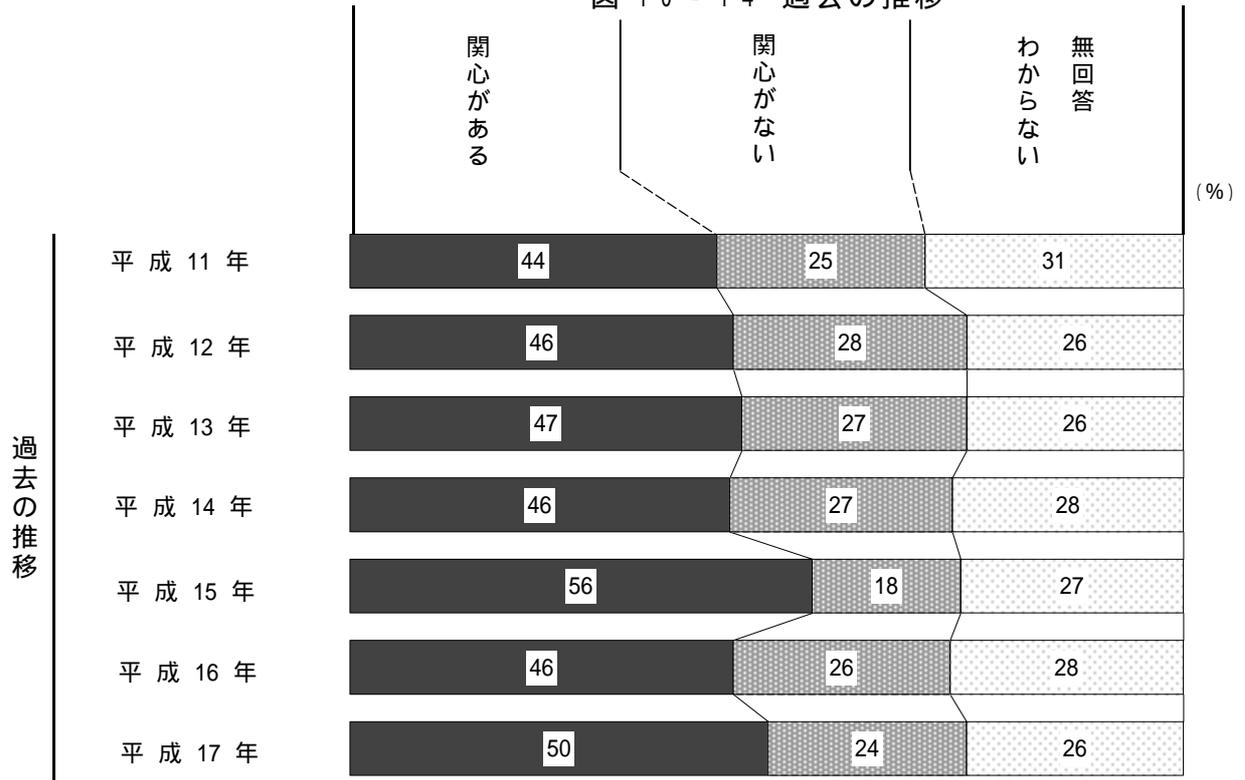


職業別では、「無職」の関心度が57%で、他の職業に比べて低くなっている。

(印の記号は、サンプル数が少ないのでコメントを省略)

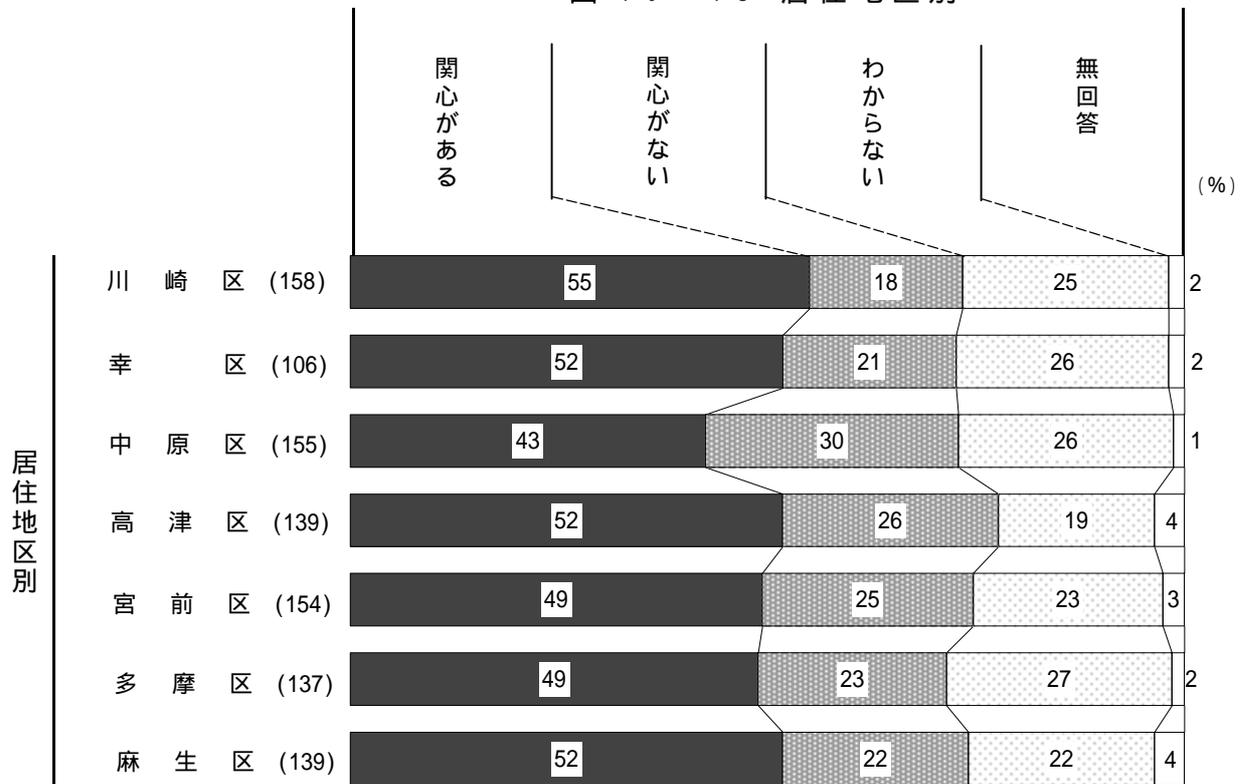
市長や議員がどんな活動をしているか

図 10 - 14 過去の推移



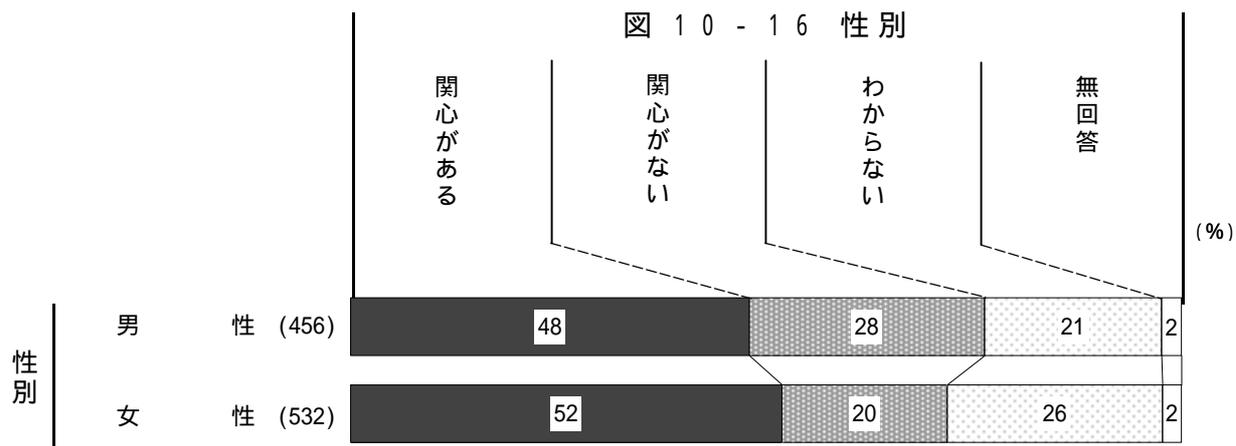
過去の推移で、関心度は昨年度と比べて4%上昇している。

図 10 - 15 居住地区別

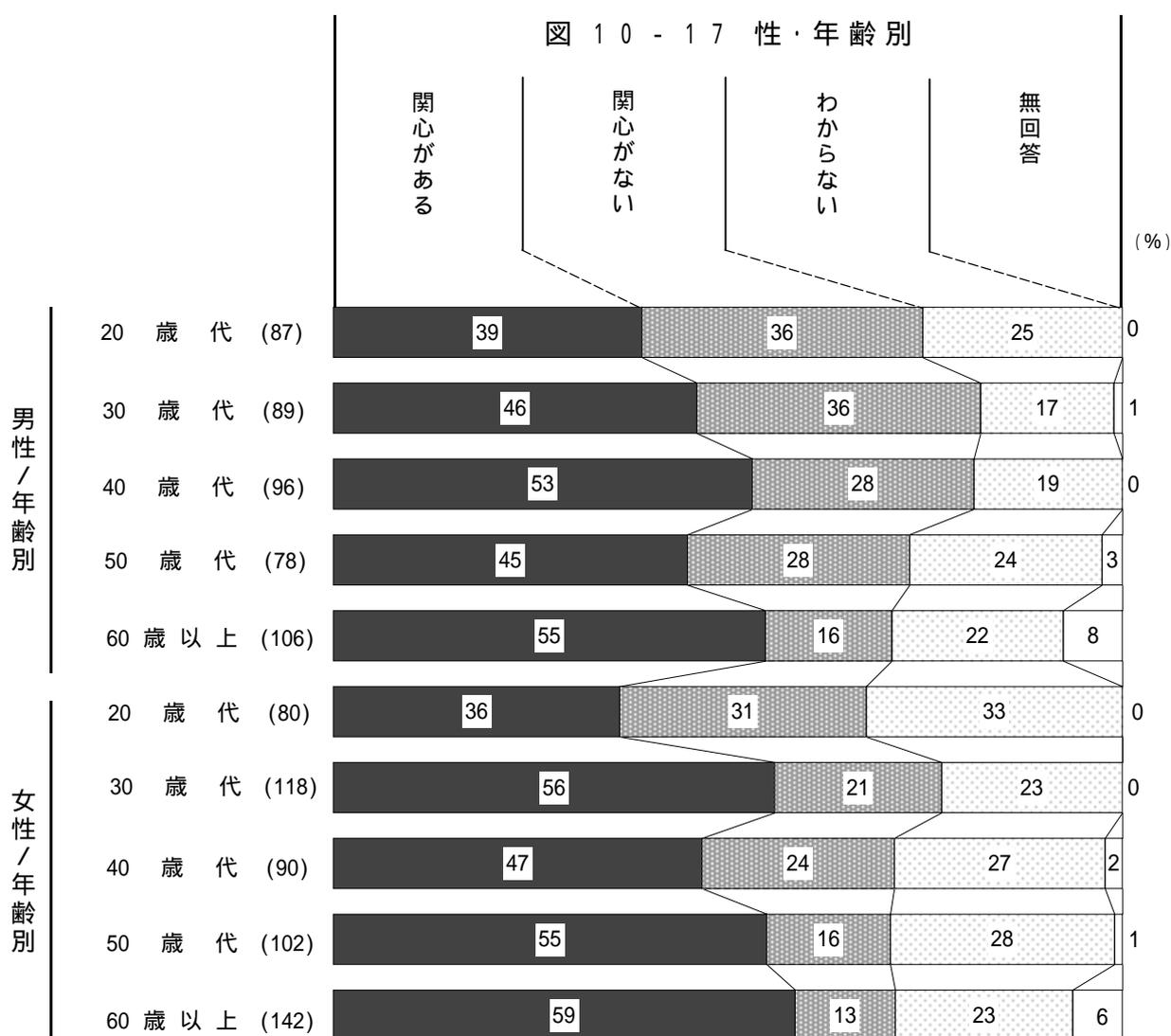


居住区別では、関心度は川崎区、幸区、高津区、麻生区が50%を上回っている。

市長や議員がどんな活動をしているか



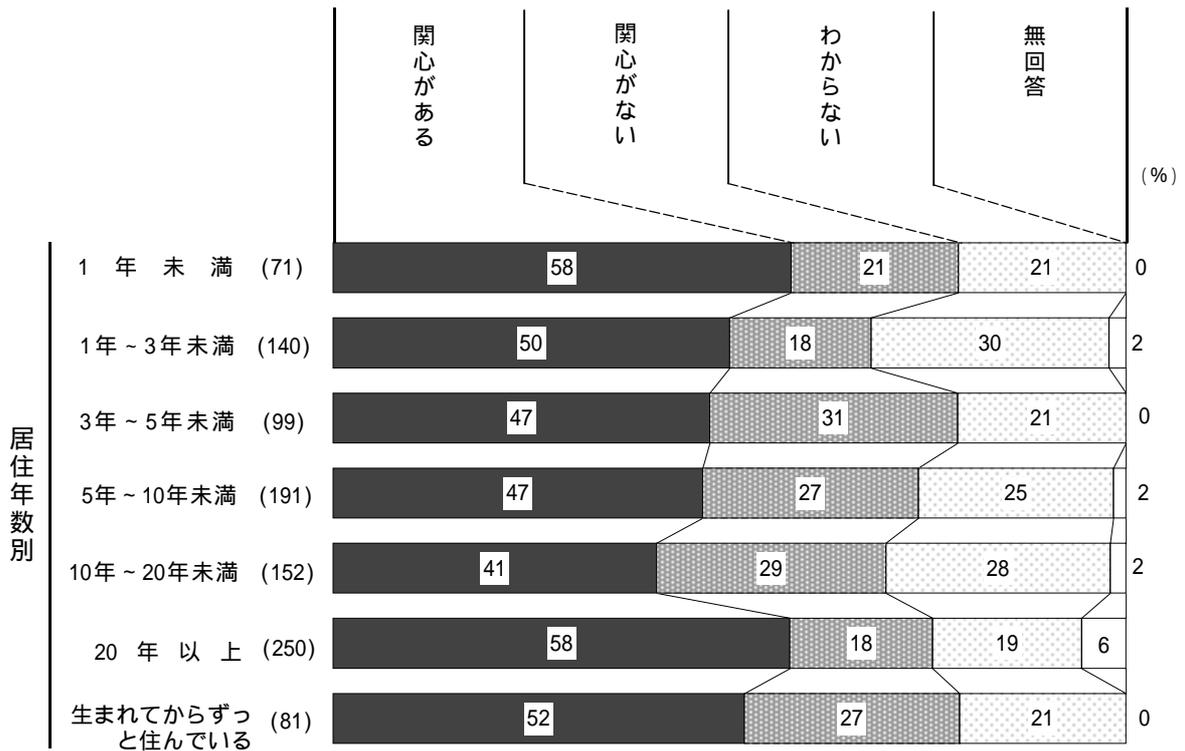
性別では、女性の方が男性より関心度が4%高い。



性・年齢別で関心度は女性60歳以上が59%で最も高い。男女ともに20歳代は関心度が30%台で、他の年齢と比べて低くなっている。

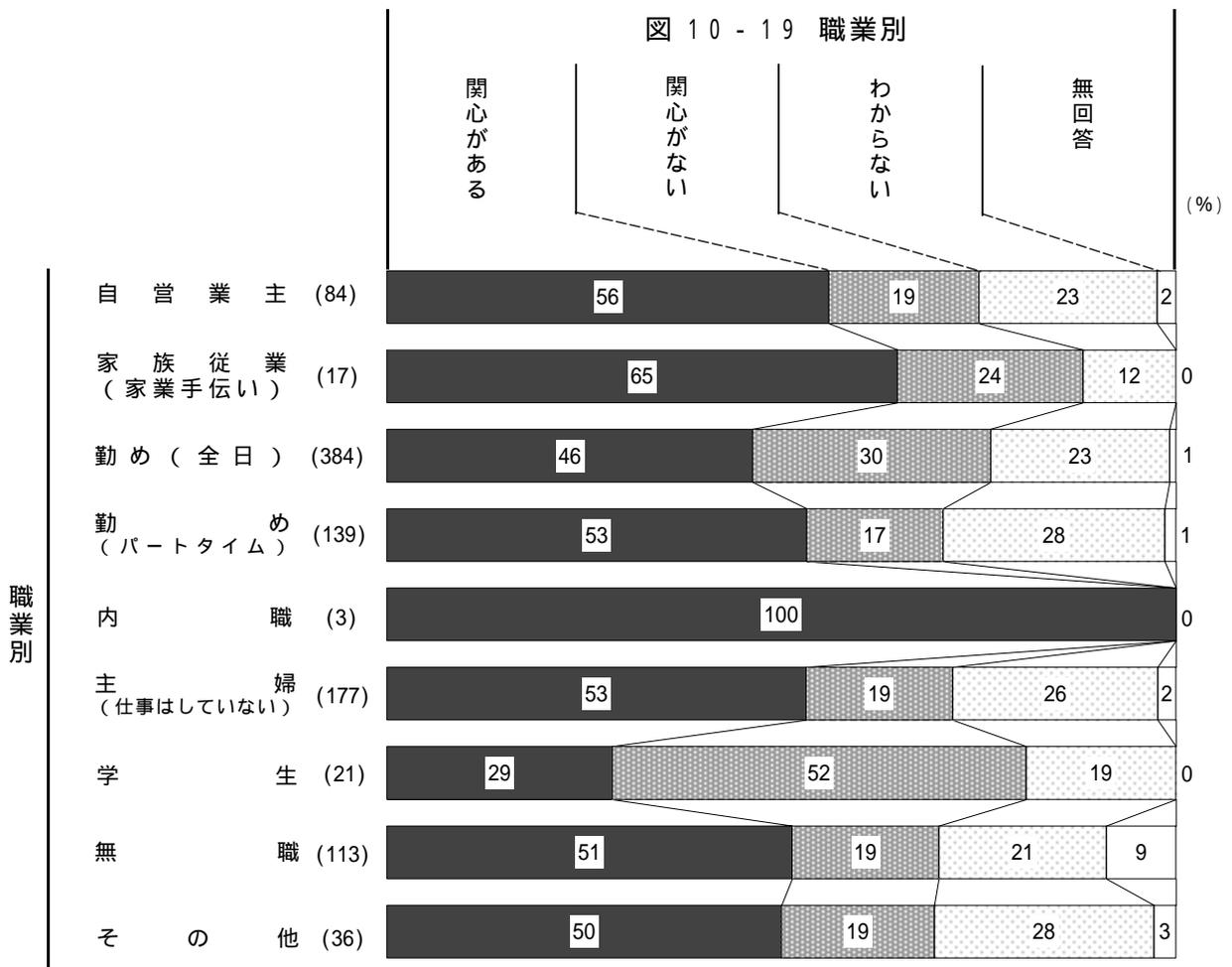
市長や議員がどんな活動をしているか

図 10 - 18 居住年数別



居住年数別では、関心度は「1年未満」と「20年以上」が58%で最も高い。

図 10 - 19 職業別

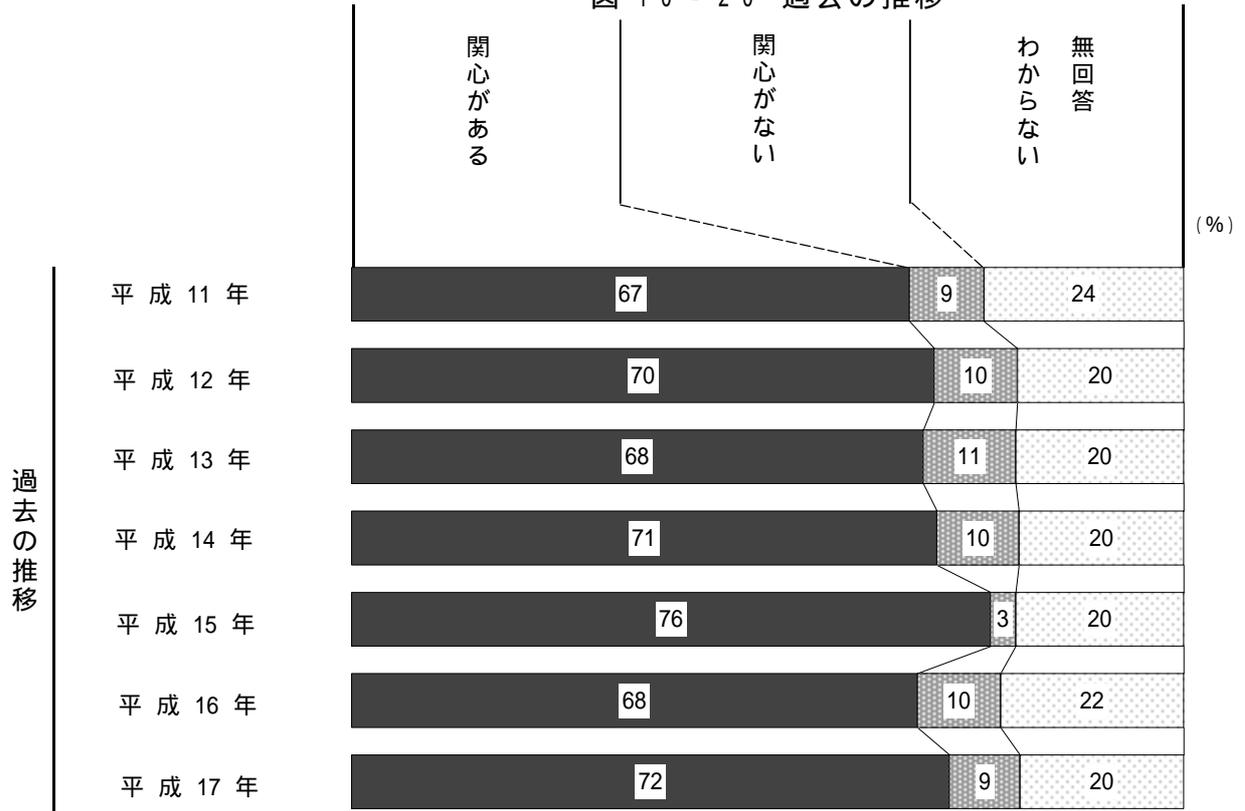


職業別では、関心度は勤め (全日) が46%であり、他の職業よりも低くなっている。

(印の記号は、サンプル数が少ないのでコメントを省略)

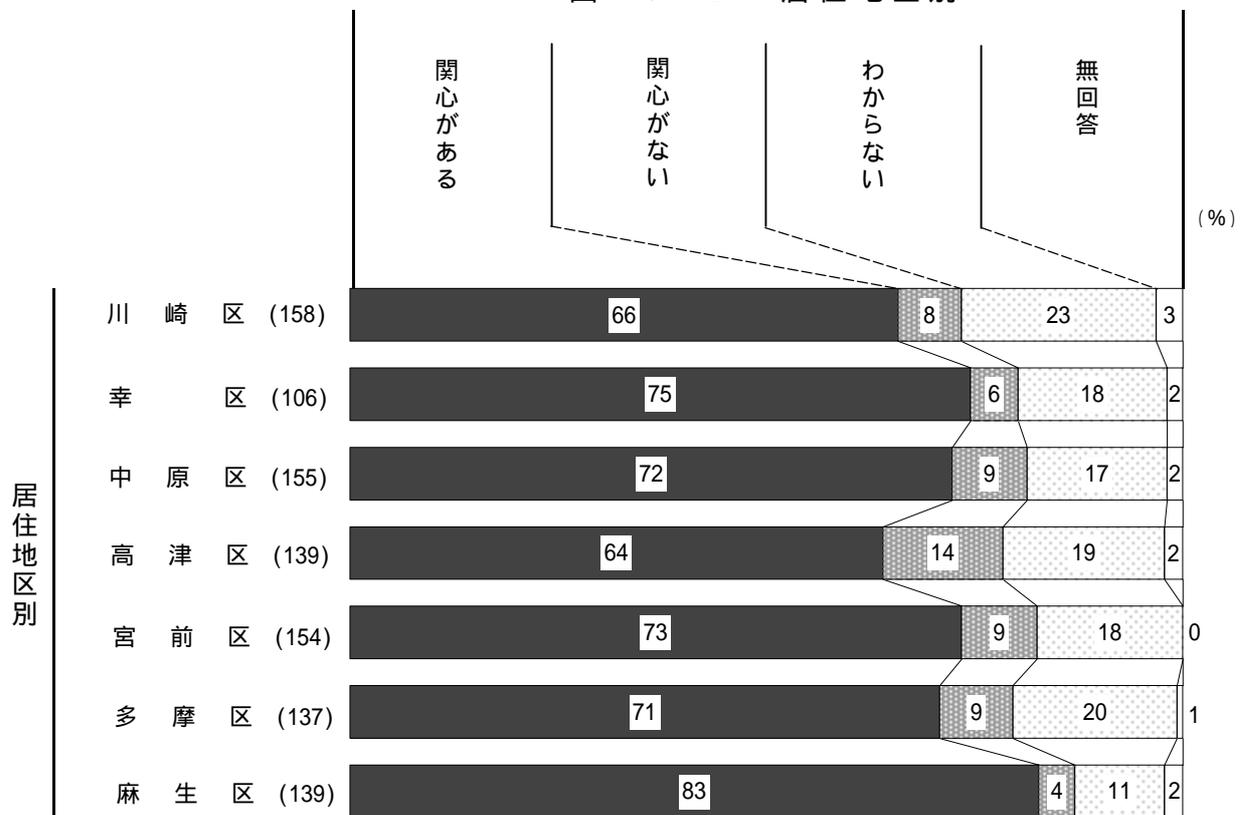
住まいの近くでどんな事業が計画されているか

図 10 - 20 過去の推移



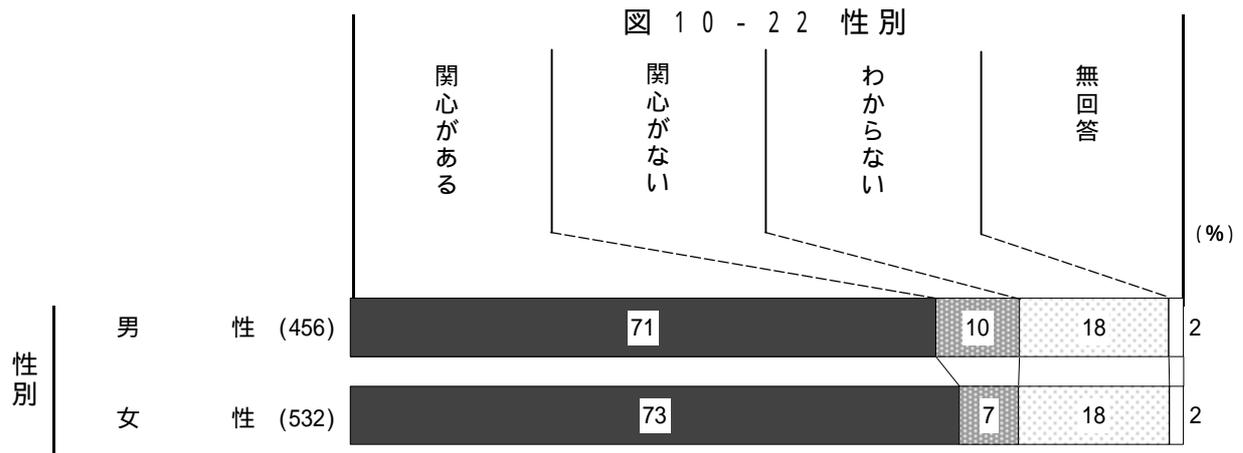
過去の推移で、関心度は昨年度に比べて4%上昇している。

図 10 - 21 居住地区別

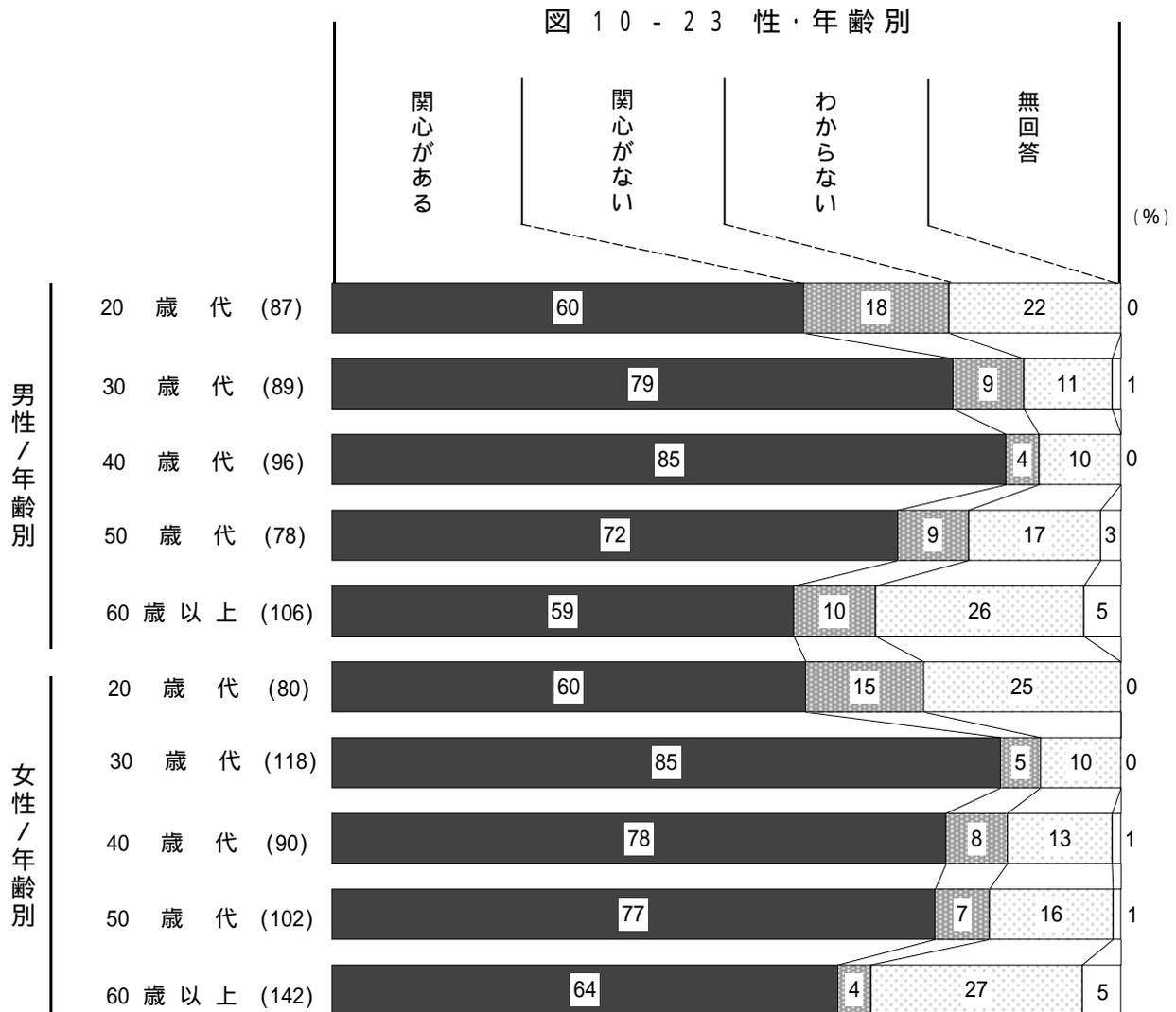


居住区別では、関心度は麻生区が83%で、他の地区と比べて高くなっている。

住まいの近くでどんな事業が計画されているか



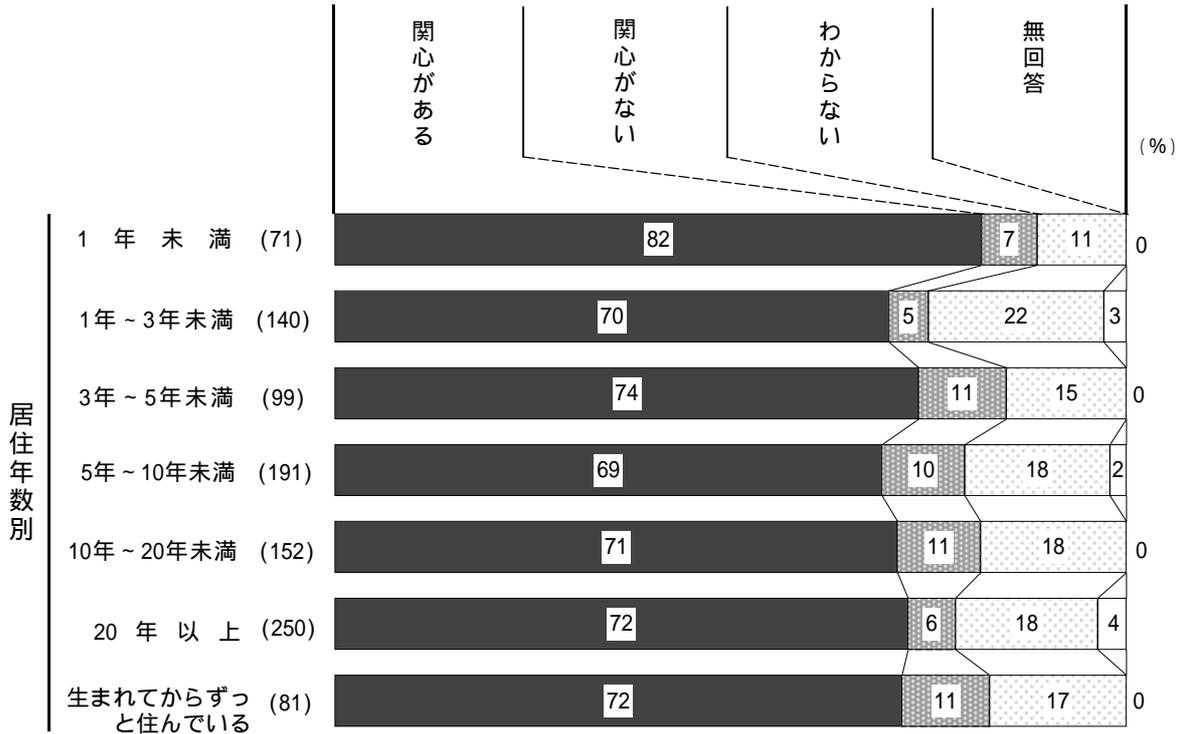
性別では、男女でほとんど差がなく、関心度はほぼ同率である。



性・年齢別では、関心度は男性40歳代と女性30歳代が85%で最も高くなっている。男性の関心度は40歳代を頂点とした山型の分布となっている。女性は30歳から60歳以上まで、年齢が上がるにつれて関心度が低くなる傾向がある。男女ともに20歳代の関心度が他の年齢よりも低くなっている。

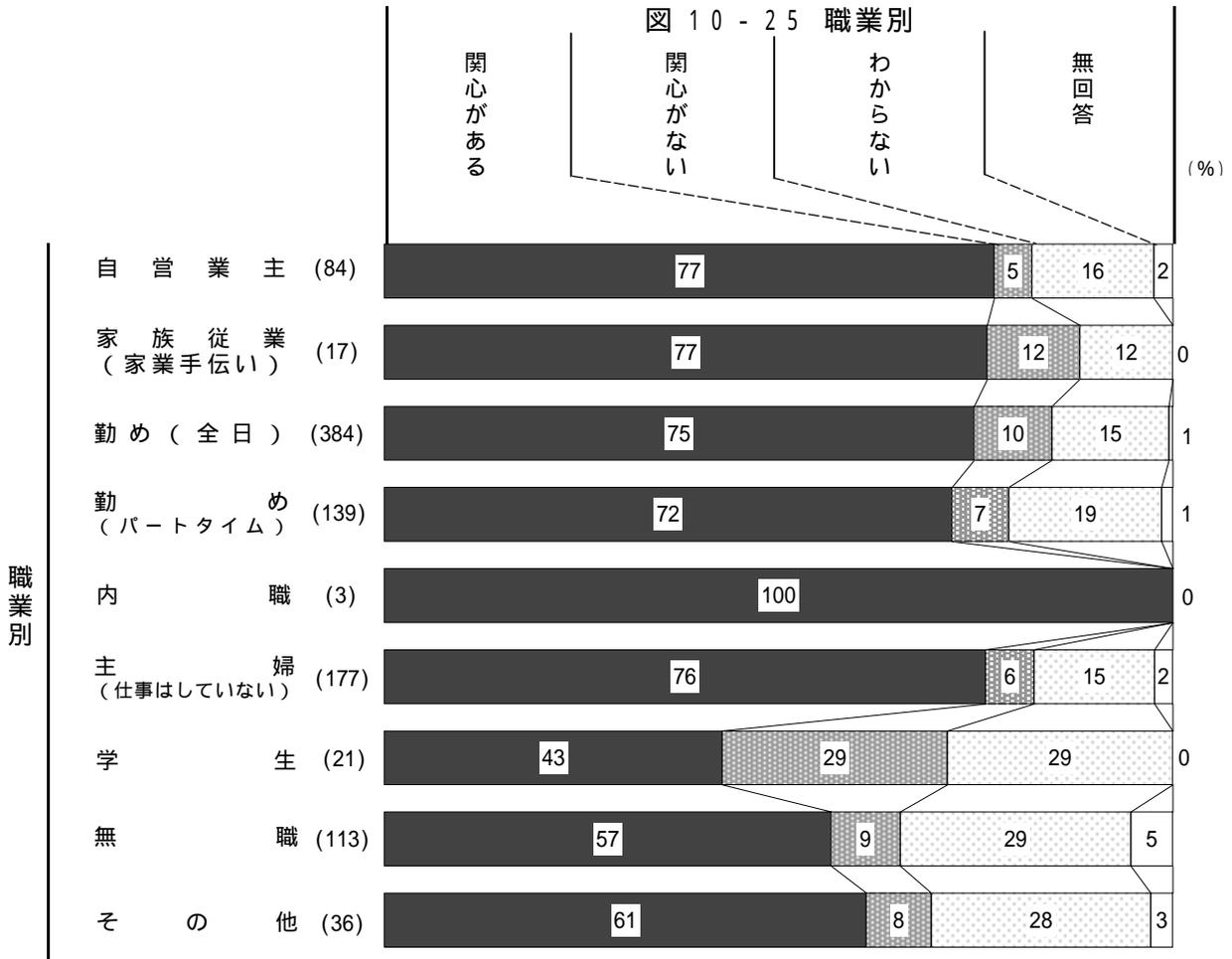
住まいの近くでどんな事業が計画されているか

図 10 - 24 居住年数別



居住年数別では、「1年未満」の関心度が82%で最も高くなっている。

図 10 - 25 職業別



職業別では、関心度は「無職」が57%で、他の職業に比べて低くなっている。

(印の記号は、サンプル数が少ないのでコメントを省略)

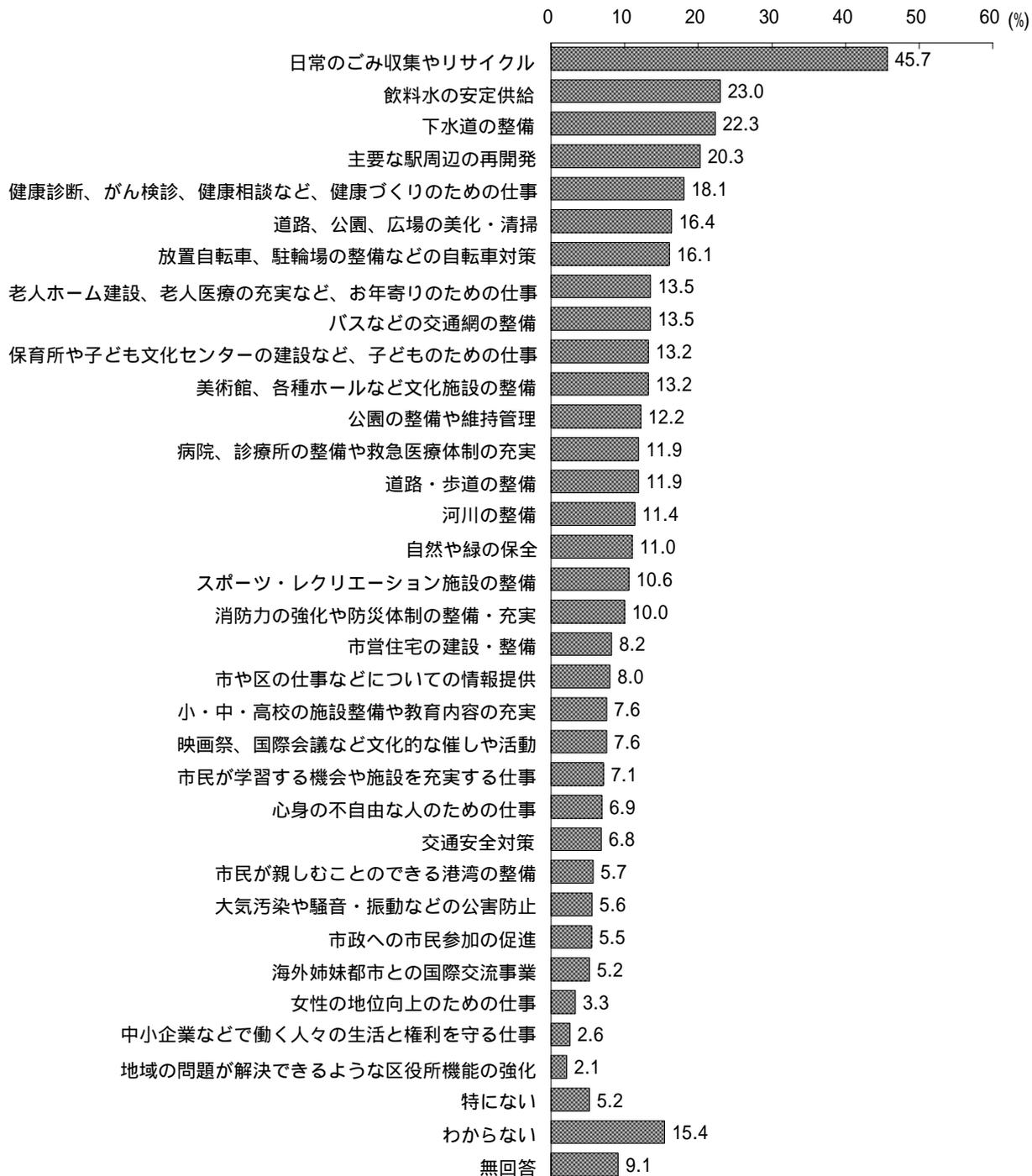
6. 市政に対する評価と要望

(1) よくやっている施策

問11 これまでおたずねしたことは別に、市政について総合的にお伺いします。
次にあげる仕事の中で、よくやっていると思われるものは、どれですか。(いくつでも)

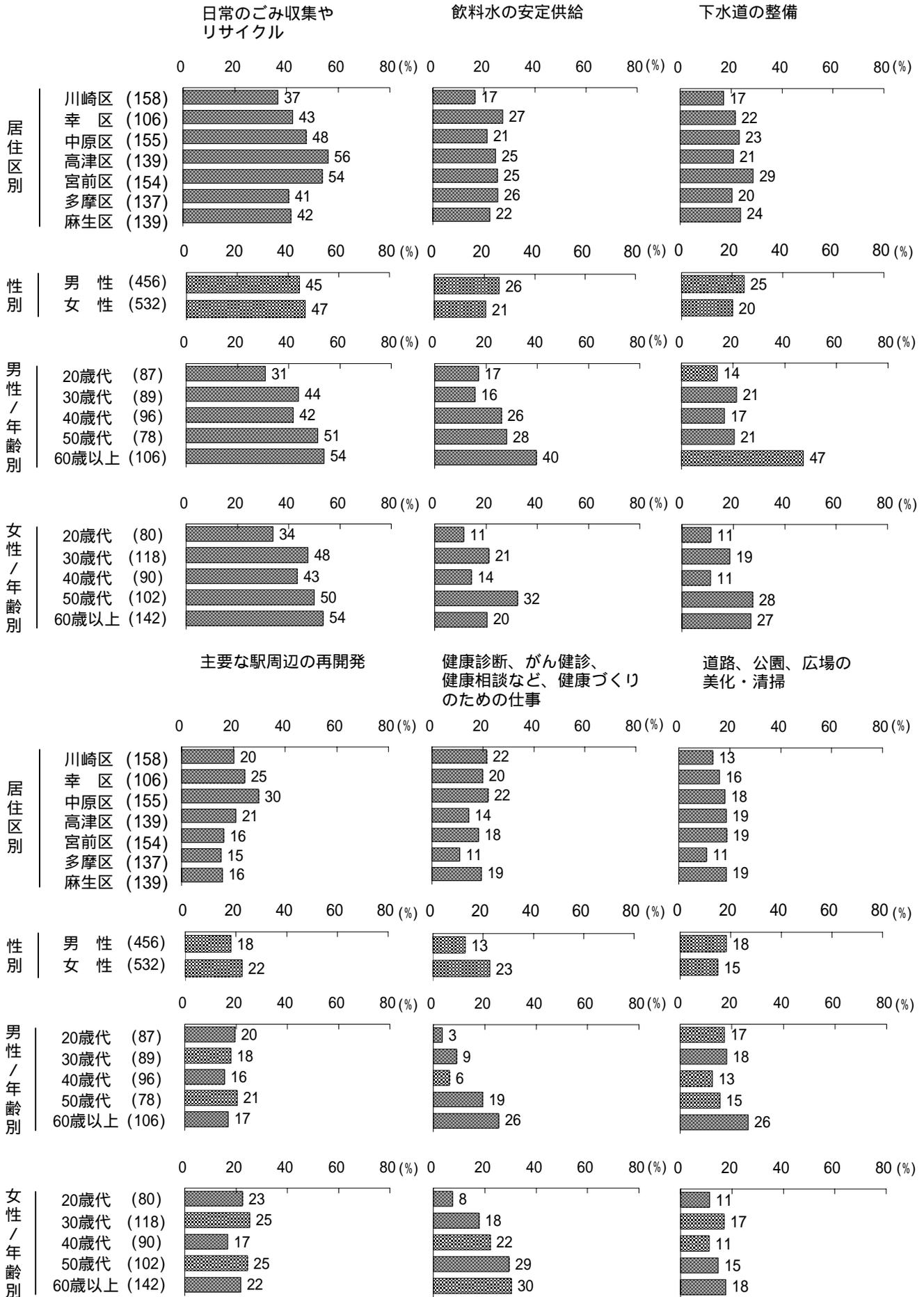
図 11 - 1

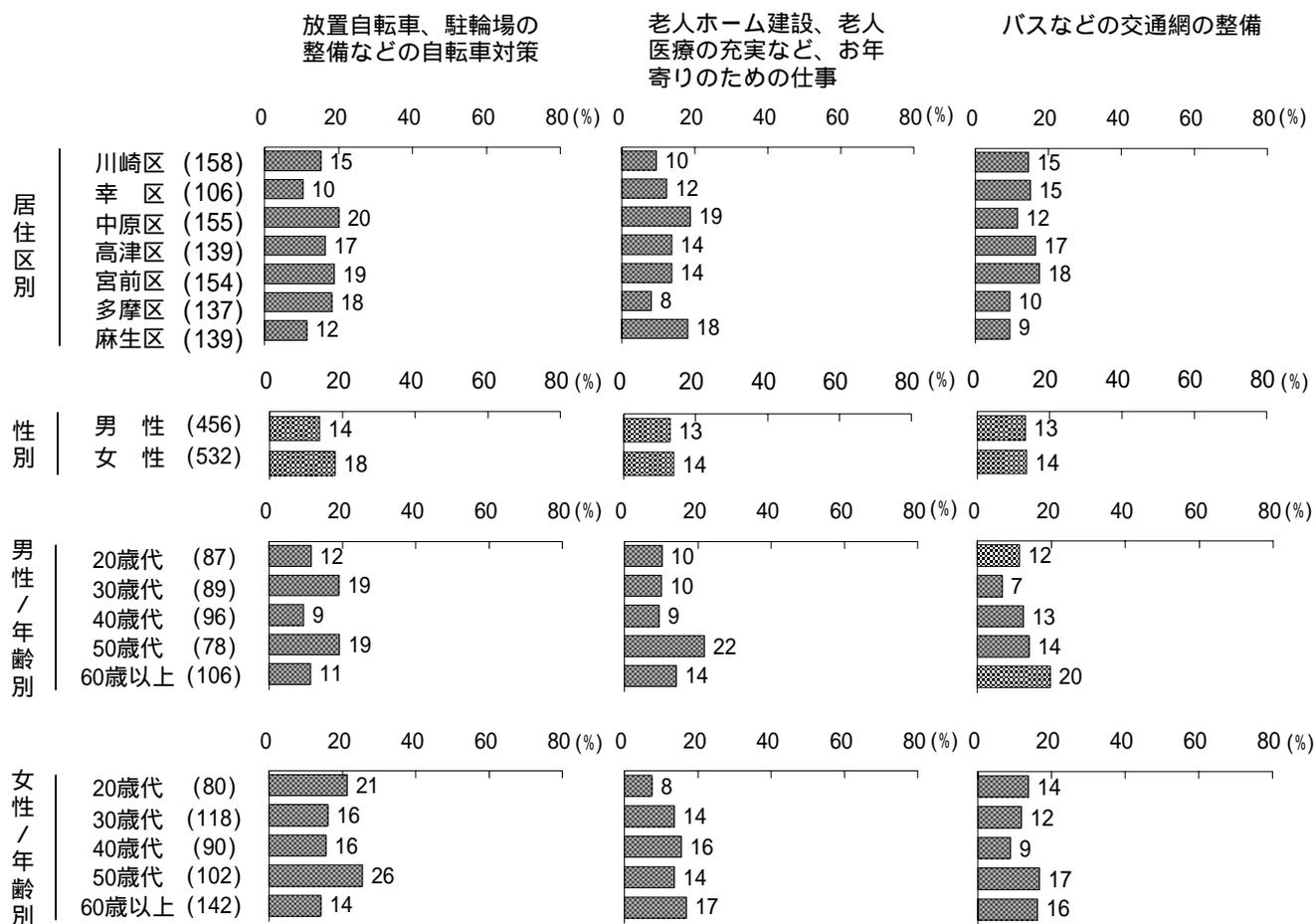
【全体 = 988】



市政に対する評価で、よくやっていると思われる施策の上位3位は、「日常のごみ収集やリサイクル」(45.7%)が突出しており、次いで「飲料水の安定供給」(23.0%)、「下水道の整備」(22.3%)である。以下、「主要な駅周辺の再開発」(20.3%)、「健康診断、がん検診、健康相談など、健康づくりのための仕事」(18.1%)、「道路、公園、広場の美化・清掃」(16.4%)などと続いている。

図 11 - 2 居住区別 / 性別 / 性・年齢別 (上位 9 項目)





居住区別では、「日常的なごみ収集やりサイクル」がすべての区で最も多くなっており、高津区、宮前区では50%を上回っている。「飲料水の安定供給」は幸区(27%)が他の区よりも多くなっている。「下水道の整備」は宮前区(29%)が最も多く、他の区では20%前後である。「主要な駅周辺の再開発」は中原区が30%を上回り、他の区と比べて多くなっている。

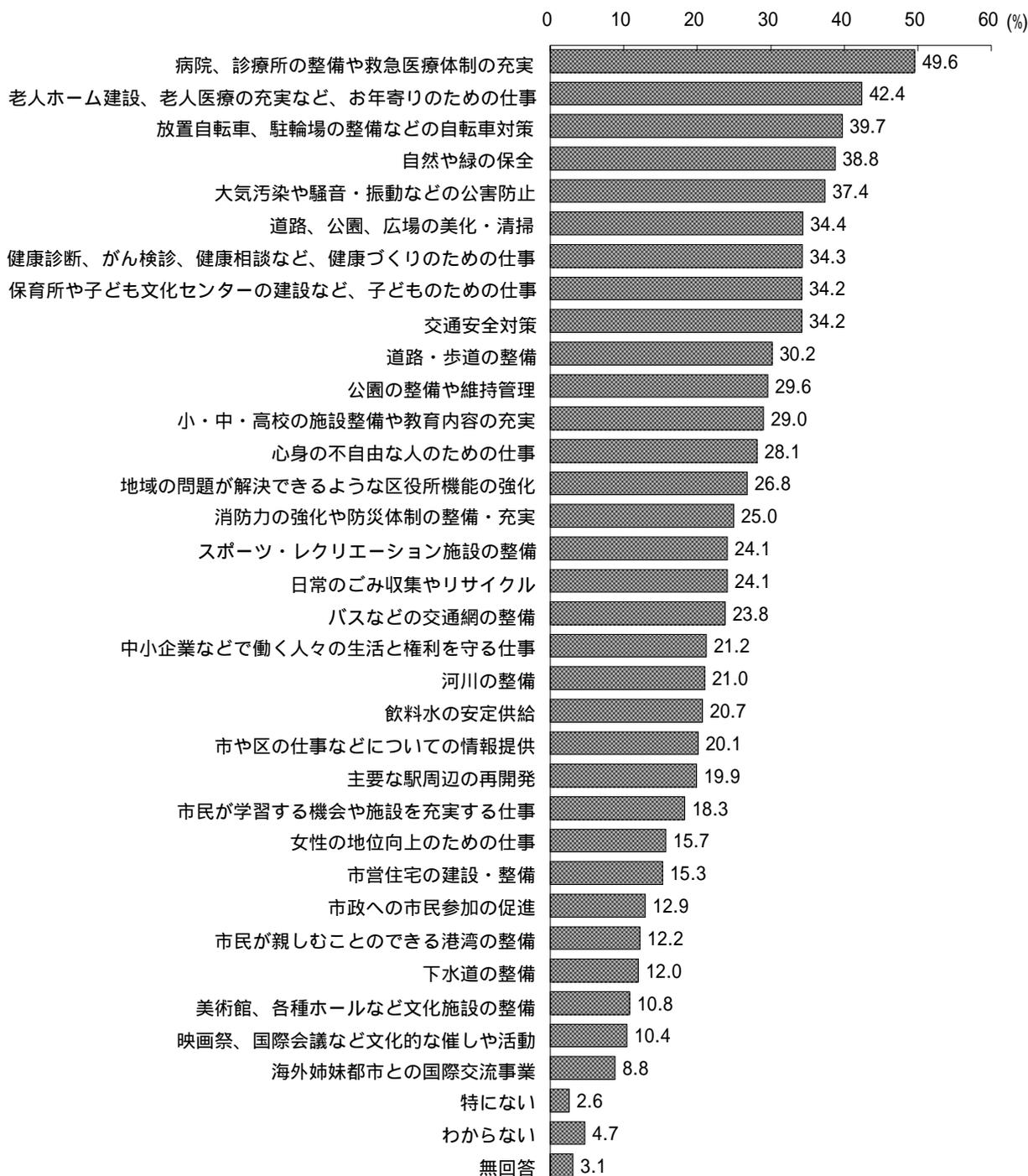
性・年齢別では、「日常的なごみ収集やりサイクル」がすべての性・年齢で最も多くなっており、男女ともに50歳から60歳以上では50%を上回っている。「飲料水の安定供給」は男性は年齢が上がるにつれて多くなる傾向があり、女性は50歳代が30%を上回り、他の年齢よりも多くなっている。「下水道の整備」は男性60歳以上が47%で最も多くなっている。

(2) 力を入れるべき施策

問12 では、今後特に力を入れてほしいとお考えのものは、どれですか。(いくつでも)

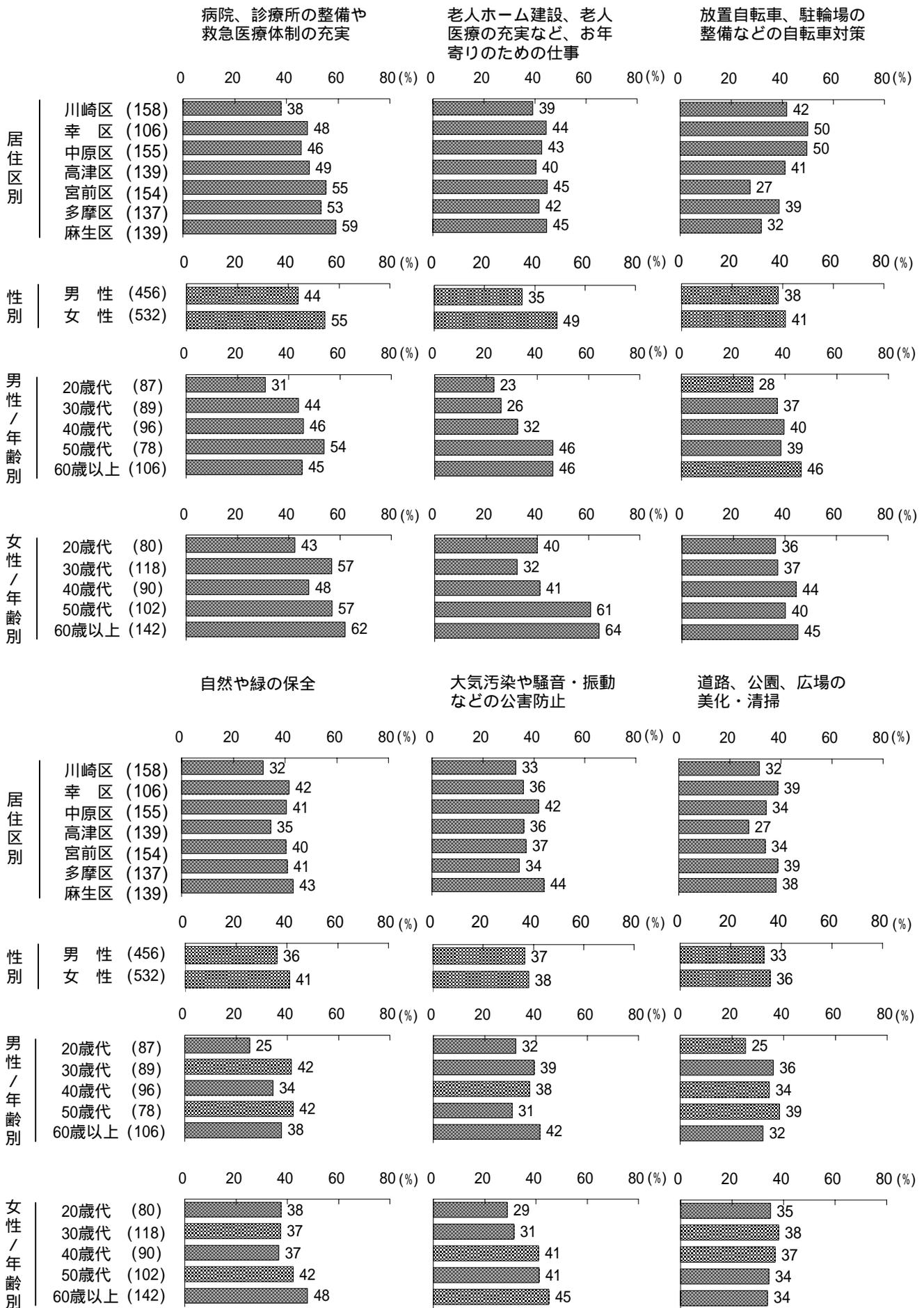
図 12 - 1

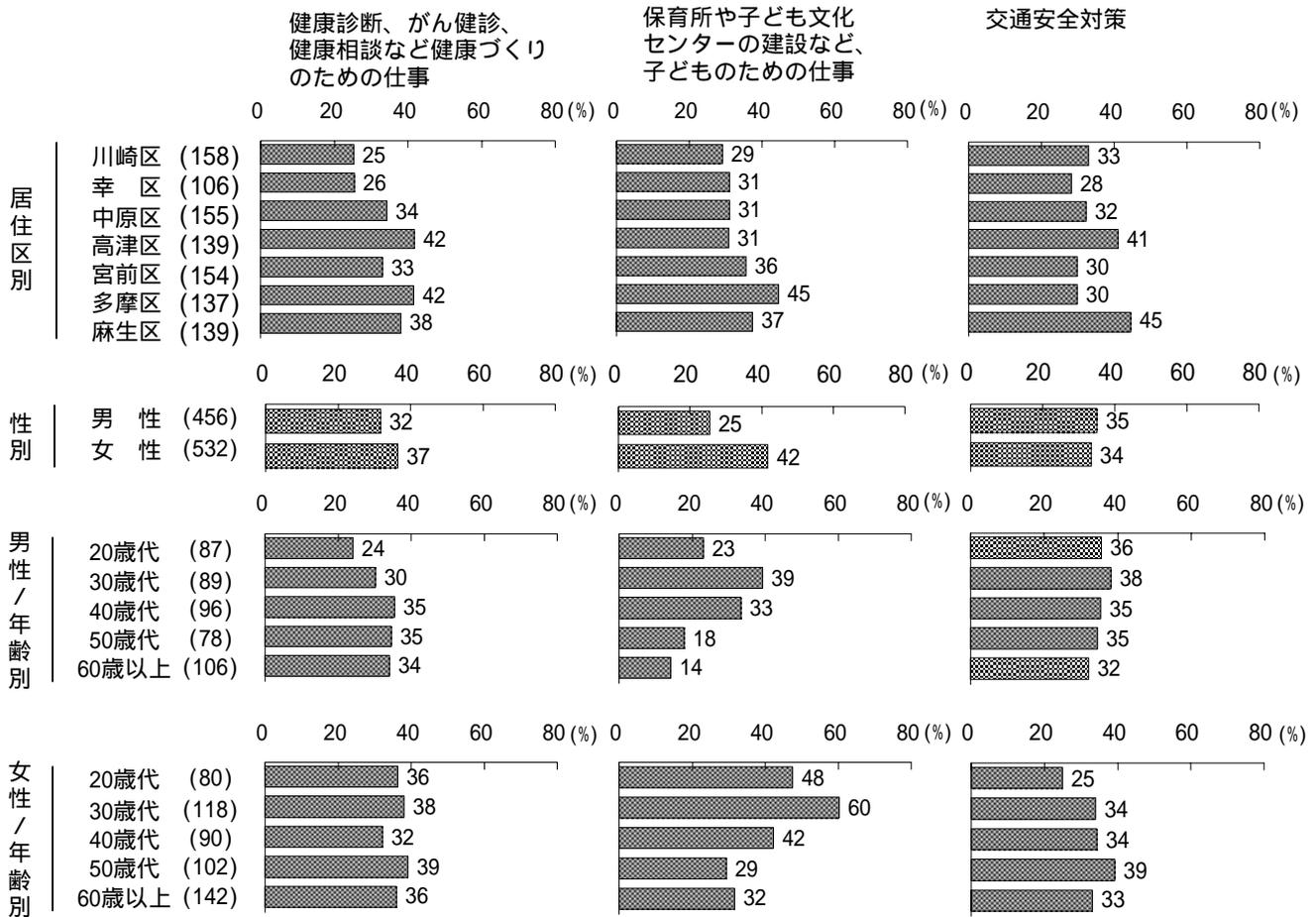
【全体 = 988】



市政で力を入れるべき施策については、「病院、診療所の整備や救急医療体制の充実」(49.6%)が最も多く、次いで「老人ホーム建設、老人医療の充実など、お年寄りのための仕事」(42.4%)、「放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策」(39.7%)、「自然や緑の保全」(38.8%)、「大気汚染や騒音・振動などの公害防止」(37.4%)などと続いている。

図 12 - 2 居住区別 / 性別 / 性・年齢別 (上位 9 項目)





居住区別では、「病院、診療所の整備や救急医療体制の充実」は高津区、宮前区、多摩区、麻生区で最も多い要望となっている。「老人ホーム建設、老人医療の充実など、お年寄りのための仕事」はすべての区で40%前後となっている。川崎区、幸区、中原区では「放置自転車、駐輪場の整備などの自転車対策」が最も多い要望となっている。

性・年齢別では、「病院、診療所の整備や救急医療体制の充実」は男性30歳から50歳代、女性40歳代で最も多い要望となっている。「老人ホーム建設、老人医療の充実など、お年寄りのための仕事」は男性60歳以上、女性50歳から60歳以上で最も多い要望となっており、年齢が上がるにつれて多くなる傾向がある。女性20歳から30歳代では「保育所や子ども文化センターの建設など、子どものための仕事」が最も多い要望となっている。